１４型ワイド地上デジタル浴室テレビ
組立要領書
MW14D-1
UB組立編

●システムバスルームに取付ける場合は、この組立要領書とシステムバスルーム組立要領書を合わせてご覧ください。

UB組立業者様へ

別冊の組立要領書の **電気工事編** は、電気工事業者様へ確実にお渡しくださいますようお願いします。
また、試運転は電気工事終了後に行いますので、元請店様へ依頼のうえ、別冊の組立要領書の **電気工事編** をお渡しください。

MN2MW14D112A

目　次

組立の前に	安全上のご注意	1
	工 具	3
	現場必要部材	3
	組立手順	5
	試運転に必要な部材	5
	セット部品の確認	6
	システム図	7
システムバスルーム組立要領	1 . 取付位置の確認	9
	2 . 壁けがき・穴あけ	9
	3 . ケーブルの設置	10
	4 . 電源ボックスの設置	10
	5 . モニター取付金具の設置	12
	6 . モニターの取付け	13
その他	※ システムバスルーム後付け時のご注意	14

安全上のご注意（必ずお守りください）

**組立の前に、この安全上の注意をよくお読みの上、
正しく据付けてください。**

◎この組立要領書では、製品を安全に正しく取付けていただき、使用者への危害や財産への損害および組立業者への危害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味はつぎのようになっています。

⚠ **警告**	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ **注意**	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

◎下に示す絵表示は組立要領書や製品に表示して、組立業者の方に安全に正しく製品を取付けていただくものです。
内容をよく理解して正しく取付けてください。

禁　止	この絵表示は、行ってはいけない「禁止」の内容です。
必ず実行	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。
アース線接続	この絵表示は、必ずアース線を接続していただく「強制」の内容です。

◎組立完了後、試運転及び各部の点検を行い、器具のがたつきや漏電・水漏れなどの安全上の不具合が無いことを確かめてください。

◎同梱されている**取扱説明書は、**使用者に製品を正しく安全に使用していただくための**重要な書類**です。　紛失や汚れのないように大切に保管し、組立完了後、**必ず使用者または元請店にお渡しください。**

⚠ 警告

設置は、組立要領書にしたがって確実に行う
設置が不完全な場合、感電や火災などの原因となります。
また、漏水により家財などを汚したり、腐らせるおそれがあります。

交流１００V以外は使用しない
感電や発熱・火災の原因となるおそれがあります。

電気工事は関連する法令・法規にしがたって、必ず「有資格者（電気工事士）」が行う
接続や固定が不完全な場合は、火災や漏電のおそれがあります。

漏電遮断器が取付けられていることを確認する
もし取付けられていなければ電気工事店へ依頼して必ず取付けてください。
感電するおそれがあります。

開梱後、不要になった梱包材はすみやかに処分する
段ボールや締付バンドなどでケガをするおそれがあります。
また、ビニール袋などは子供などがかぶって遊び、思わぬ事故につながるおそれがあります。

製品の改造や分解は行わない
火災や感電、落下による傷害のおそれがあります。

⚠ 注意

組立に使われる溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品類は、容器などに記載の注意表示にしたがって、正しく使用する
誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因につながるおそれがあります。

機器の取付けは、確実に行う
止水不良による漏水のおそれがあります。

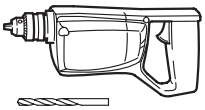
⚠ 取付け前のご注意

- テレビ取付けの際、必要に応じ壁裏補強を実施してください。
- スチームサウナ等、高温（５０℃を超える）になる場合には取付けはできません。
- 浴室乾燥機のある浴室に取付ける場合は、温風が浴室テレビに直接あたらない場所をお選びください。
- 屋外から直射日光のあたる場所への取付けは避けてください。
- 薬品を使用するなど通常環境と異なる場所への取付けはできません。
- 正面から浴室テレビを見ることができる位置に取付けてください。
- 受信可能チャンネルは地上デジタル放送００１～９９９です。
  BS、CS放送等のチューナーは内蔵していません。
- このテレビは日本国内のみで使用できます。
  外国では、放送方式・電源電圧が異なりますので使用できません。

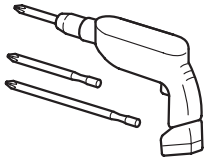
工　具

※在来浴室への取付けには、下記以外の工具が必要となる場合があります。
現場に合わせて、工具を準備してください。

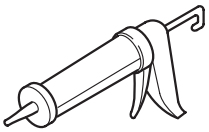
□:電気工事で使用するもの



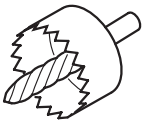
電動ドリル
ドリル刃φ2.8、
φ6（φ50下穴用）



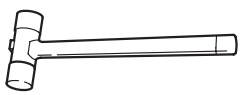
□:ドライバービット
⊕短・長 No.2・3（先端サイズ）
電動ドライバー（トルク調整機能付）



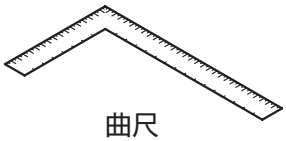
コーキングガン



ホルソー
φ50

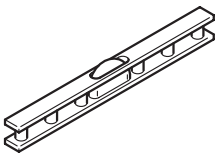


樹脂ハンマー

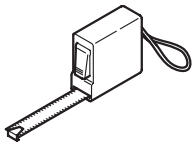


曲尺

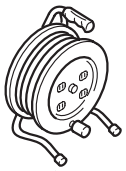
□:短寸のドライバー
（100mm以内）
⊕No.2（先端サイズ）



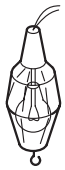
水平器



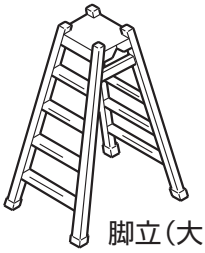
金尺



コードリール



作業灯



脚立（大・小）

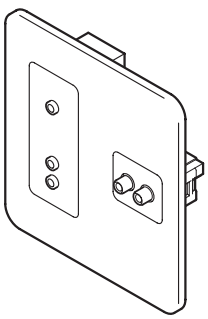
現場必要部材

※お客様がテレビと外部機器の接続を希望される場合は、
取付けに必要となりますので別途手配ください。

⚠注意

必ず実行

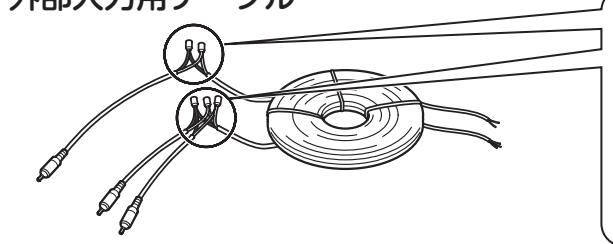
- 高周波同軸ケーブル（映像用）/OCFシールド線（音声用）＋市販のRCARCAピンプラグ接続コード、OCFシールド線（外部コントロール用）＋市販のφ3.5モノラルミニプラグ接続コードはそれぞれ合計20m以内にしてください。
  20mより長いと浴室テレビのリモコンで外部機器を操作できない場合があります。



部品	数量
AV用信号コンセント （パナソニック電工（株）製 WN4822　相当品）	1
オーディオ用信号コンセント （パナソニック電工（株）製 WN4821　相当品）	1
取付枠 （パナソニック電工（株）製 WN3710　相当品）	2
プレート（プレートカバー、プレート枠） （パナソニック電工（株）製 WN6074W 相当品）	1

※壁コンセント設置時は、電力配線と弱電流電線を分離してください。

外部入力用ケーブル

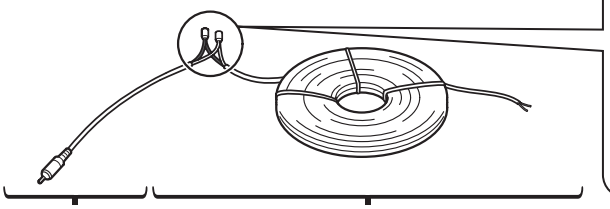


市販のRCAピンプラグ接続コード（映像×1、音声×2）（※1）に高周波同軸ケーブル3C-2Vまたは3C-2VS（映像用）・OFCシールド線（メガネ平行シールド線）芯線断面積0.23mm²以上（音声用）を圧着し、使用してください。
（※1の長尺品をカットしての使用も可。ケーブルを接続する場合は必ず合計20mm以内としてください。）

RCAピンプラグ
接続コード（市販品）

映像用：日立電線（株）製　高周波同軸ケーブル3C-2Vまたは3C-2VS　相当品
音声用：パナソニック電工（株）製　オーディオ用シールド線AD-RDAFW**　相当品
※ **は長さを示します。（15：15m、30：30m、45：45m、60：60m）

外部コントロール用ケーブル



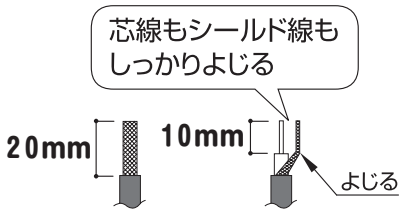
市販のφ3.5モノラルミニプラグ接続コード（※2）にOFCシールド線（1芯または2芯）芯線断面積0.1mm²以上、外径φ2.7以上（外部コントロール用）を圧着し、使用してください。
（※1の長尺品をカットしての使用も可。ケーブルを接続する場合は必ず合計20mm以内としてください。）

φ3.5モノラル
ミニプラグ
接続コード（市販品）

外部コントロール用：日立電線（株）製　UL2552-SW　2×26AWG（7/0.16）LF　相当品

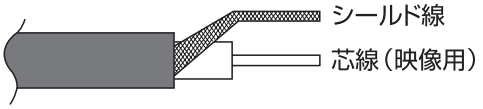
外部入力用ケーブル・外部コントロール用ケーブルの処理方法

ケーブルの切断した端を右図のように処理しておきます。
外皮は20㎜、芯線は10㎜ほどむいておき、しっかりよじっておきます。

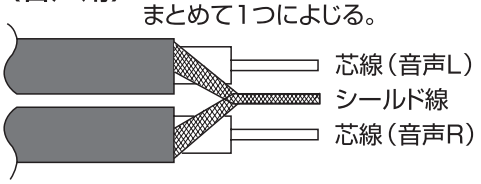


外部入力用ケーブル

〈映像用〉シールド線と芯線（映像用）をそれぞれしっかりよじっておく。

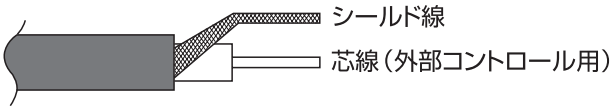


〈音声用〉芯線（音声L,音声R）をそれぞれよじり、シールド線は芯線の間でまとめて1つによじる。

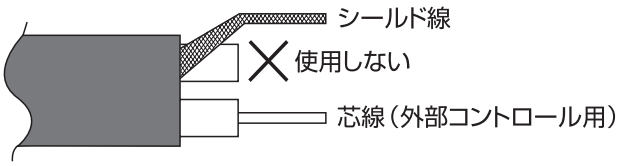


外部コントロール用ケーブル

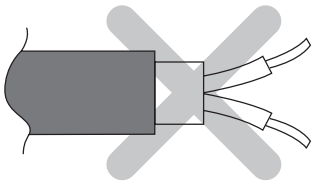
1芯の場合　シールド線と芯線（外部コントロール用）をそれぞれしっかりよじっておく。



2芯の場合　シールド線と芯線（外部コントロール用）1本をそれぞれしっかりよじっておく。

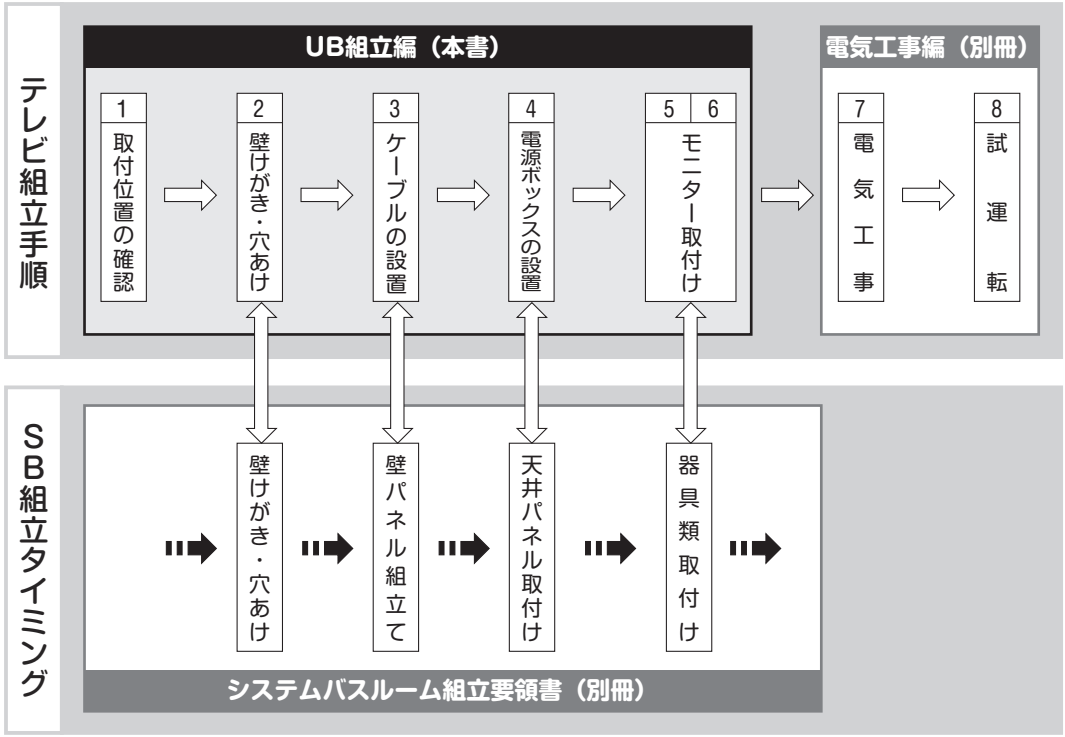


※シールド線を使用せずに、2芯のケーブルを2本使用すると、故障や動作不良の原因となります。



組立手順

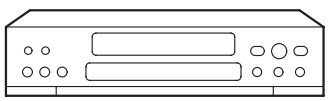
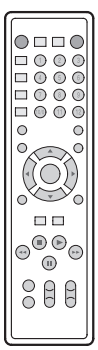
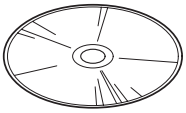
※システムバスルーム取付けの場合は、システムバスルーム組立にあわせて取付けてください。
※在来浴室取付けや後付けの場合は現場にあわせて変更してください。



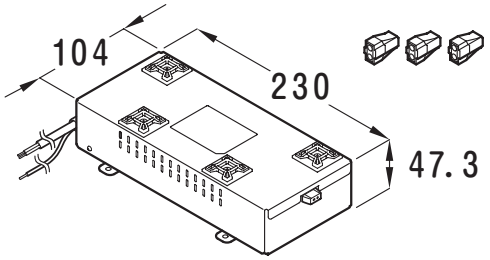
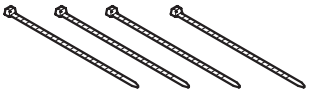
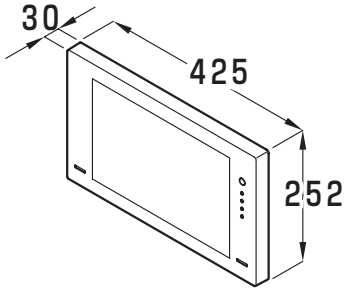
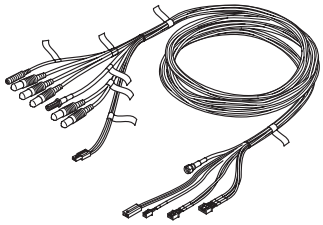
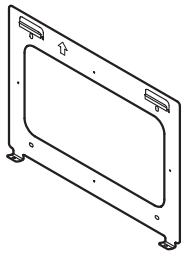
試運転（元請店実施）に必要な部材

お客様がテレビと外部機器の接続を希望される場合のみ必要です。

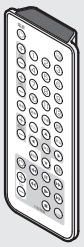
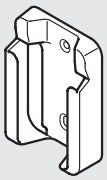
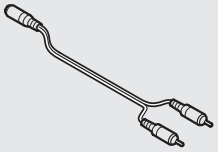
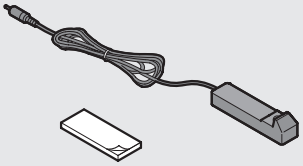
リモコン付の映像機器（DVDなど）

本体	リモコン	再生するＤＶＤなど
		
AVコード		

セット部品の確認

電源ボックス・電源線接続コネクタ3個 	結束バンド ※電源ボックスに同梱　4本 	ビスカバー
防水モニター（以下モニター） 	モニター中継ケーブル （3500mm） 	モニター取付金具 
モニター取付金具取付ねじ　4.2×30、4本		
モニター取付ねじ ※ビスカバーに同梱　3×5、2本		
樹脂製アンカー　φ4用、4本		
組立要領書［UB組立編］（本書）		
組立要領書［電気工事編］（電気工事店様引渡し部品）		

★リモコン、リモコンホルダー、ボタン型電池、取扱説明書、外部コントロール用変換ケーブル、LEDケーブルは、使用者または元請店に確実にお渡しください。
また保管の際は直射日光のあたる場所（窓際など）に置かないでください。

防水リモコン（以下リモコン） （お客様引渡部品） 	リモコンホルダー （お客様引渡部品） 
外部コントロール用 変換ケーブル （お客様引渡部品） 	LEDケーブル （お客様引渡部品）  （両面テープ：1枚）
ボタン型電池 CR2032　※ リモコンに同梱 （お客様引渡部品）	取扱説明書　（お客様引渡部品）

システム図 （テレビ接続部分）

⚠注意

必ず実行

•落雷に備えて、アンテナ設備にアースを取るか、保安器を必ず設置してください。

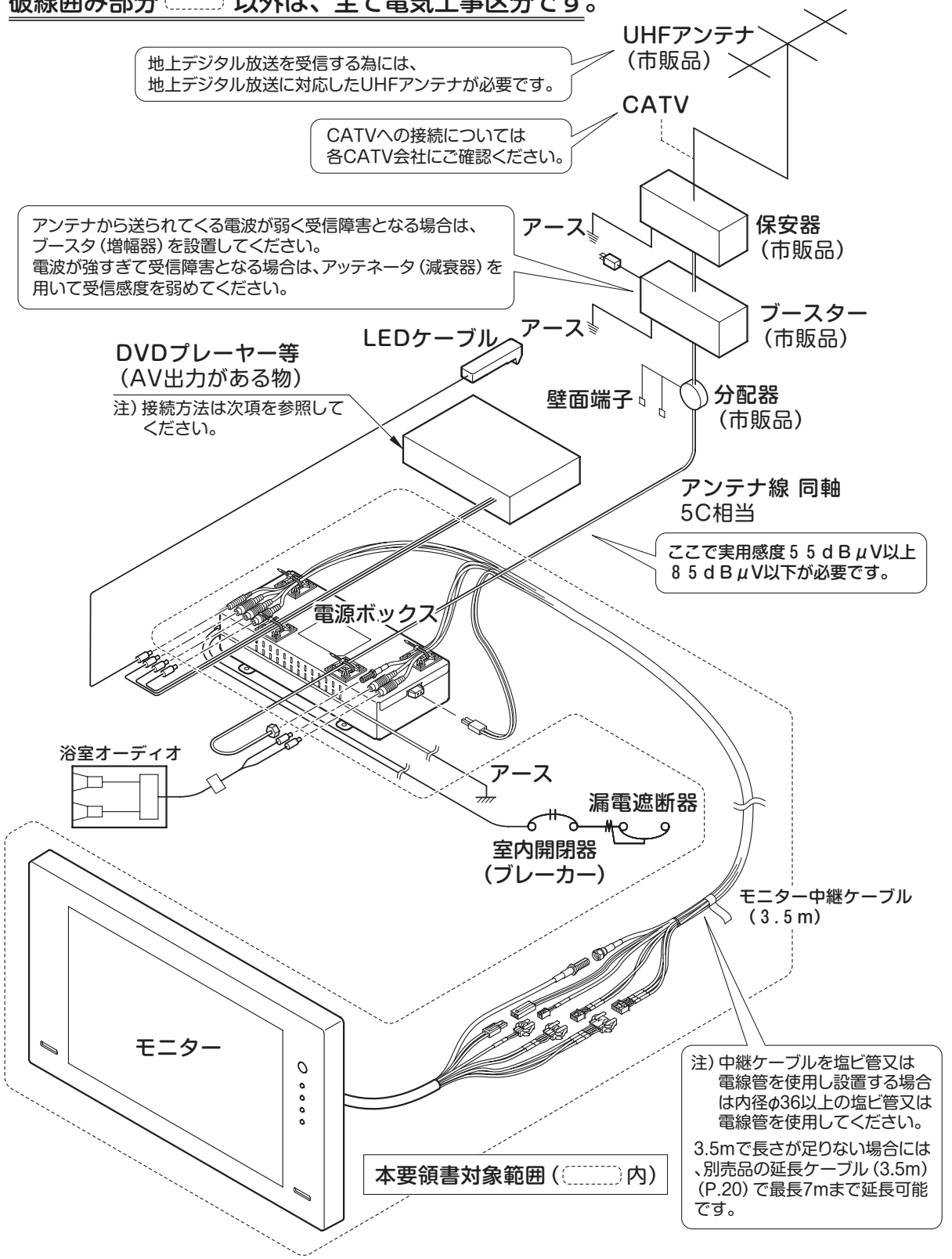
⚠注意

必ず実行

•取付の際は、必ず屋内開閉器（ブレーカー）と漏電遮断器を設置してください。

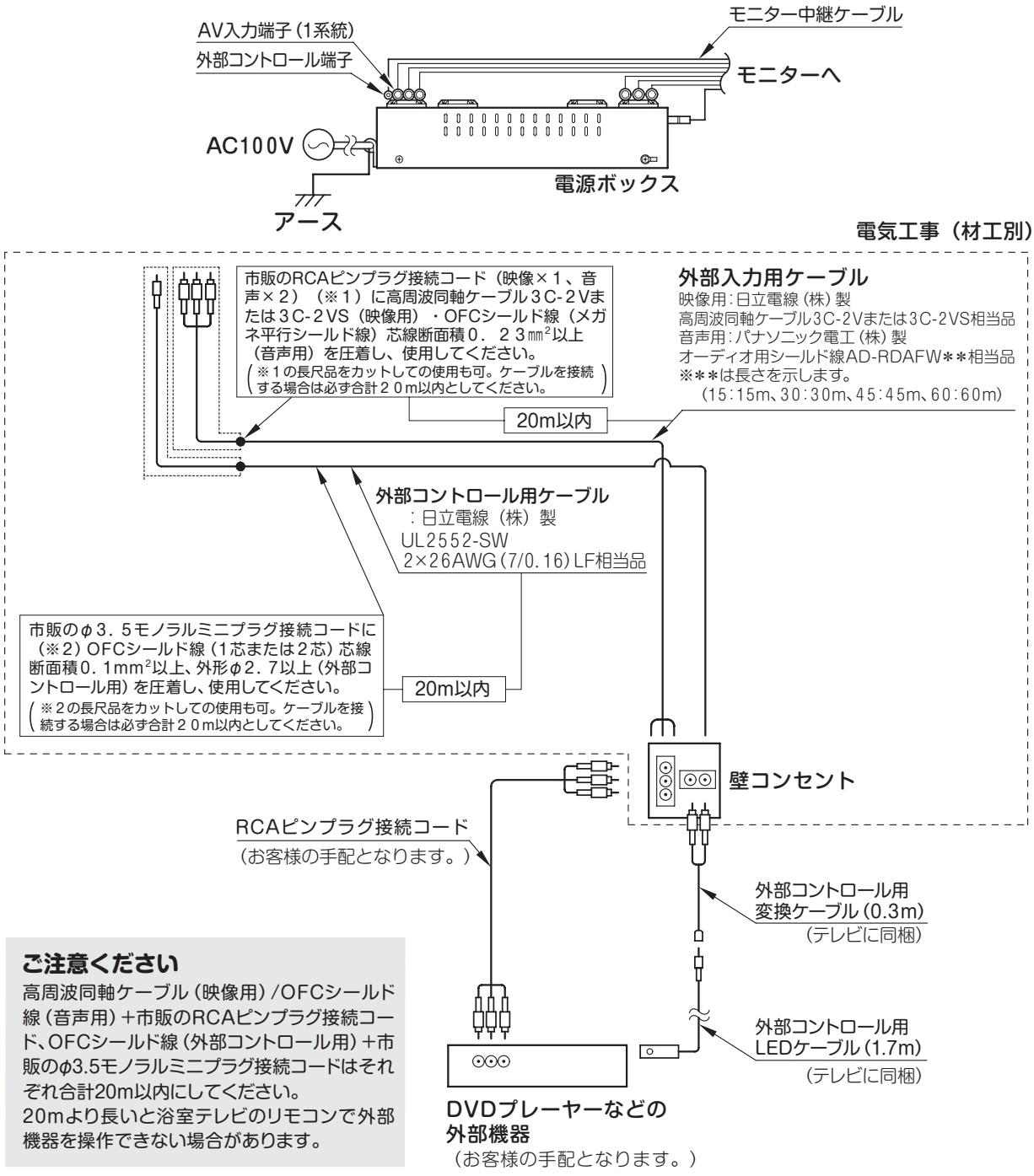
※電気工事で配線します。

破線囲み部分（- - -）以外は、全て電気工事区分です。



システム図 （外部機器接続部分）

内が電気工事店様の作業範囲となります。



ご注意ください

高周波同軸ケーブル（映像用）/OFCシールド線（音声用）+市販のRCAピンプラグ接続コード、OFCシールド線（外部コントロール用）+市販のφ3.5モノラルミニプラグ接続コードはそれぞれ合計20m以内にしてください。
20mより長いと浴室テレビのリモコンで外部機器を操作できない場合があります。

⚠注意

【設置前にご確認ください】

必ず実行

- 電源ボックスから壁コンセントまでのケーブルは合計２０m以内としてください。
  ケーブルが届く範囲に壁コンセントを確実に設置できるか確認してください。
- 壁コンセント設置位置はお客様と十分ご相談してください。
  壁コンセントから外部機器までケーブル長さ（合計２m）の制限があります。
- 電源ボックスから壁コンセントまで壁裏ケーブル配線が可能か確認してください。

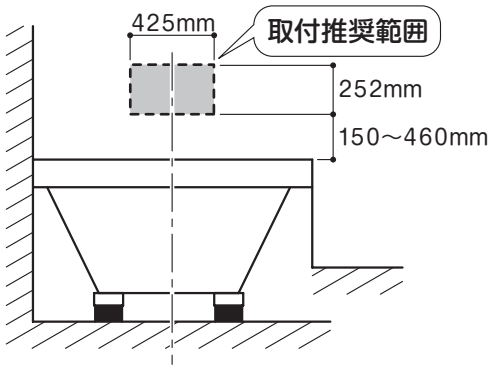
システムバスルーム組立要領

1 取付位置の確認【システムバスルーム】

システムバスルーム取付けの場合のテレビ取付要領を記載します。
在来浴室組立ての場合は、P.14「在来浴室組立要領」へお進みください。

モニター取付位置は取付推奨範囲を参考にして、浴槽の中からモニターを正面に見ることのできる位置に決めてください。
取付推奨範囲は取付位置の目安です。取付推奨範囲を参考にお客様の希望の位置に変更することが可能です。

浴室テレビモニターの下側にカウンター等がある場合は、モニター下端から１００mm程度離してください。

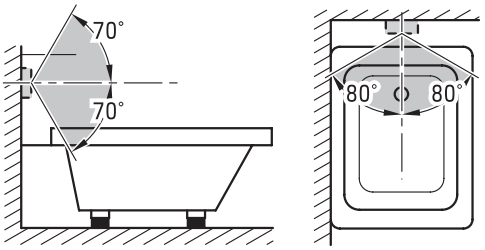


中継ボックスの届く範囲内に電源ボックスを設置してください。3．5m以上必要な場合は、別売品のモニター延長ケーブル（3.5m）を使用していただくと、最長7mまで延長可能になります。

⚠注意

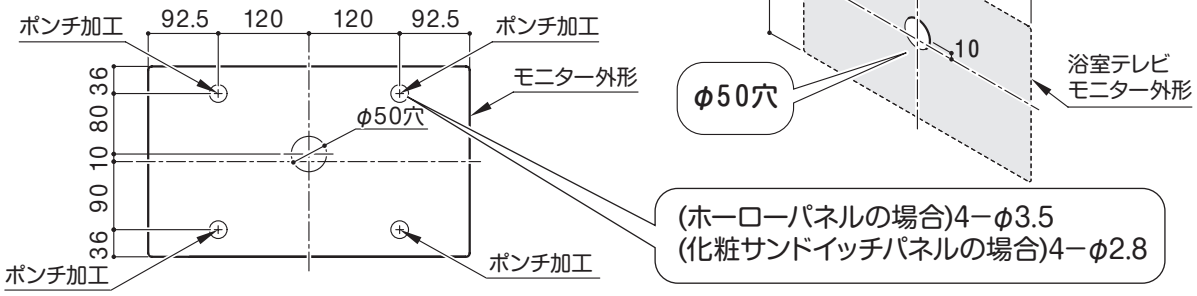
必ず実行

- モニターの視野角（よく見える範囲）は上下70°、左右80°です。
- 水栓金具や壁裏配管などとの取合いに十分ご注意ください。
- 浴室暖房機のある浴室に取付ける場合は温風が直接あたらない位置に取付けてください。
- 直射日光のあたる場所へは取付けないでください。
- 見る角度によって画面が見えにくい場合は、リモコンのメニューから画面の明るさを調整して見やすい輝度にしてください。（取扱説明書 P.19）



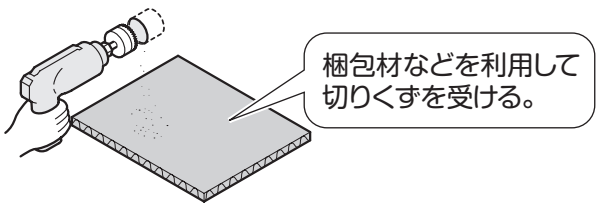
2 壁けがき・穴あけ【システムバスルーム】

①浴室テレビ取付位置をけがき、穴φ50および本体取付穴（φ3.5又はφ2.8）を開ける。
　φ50穴加工位置はモニター中心位置の10mm上に開ける。
②穴φ50の端部に、防錆剤を塗布してください。



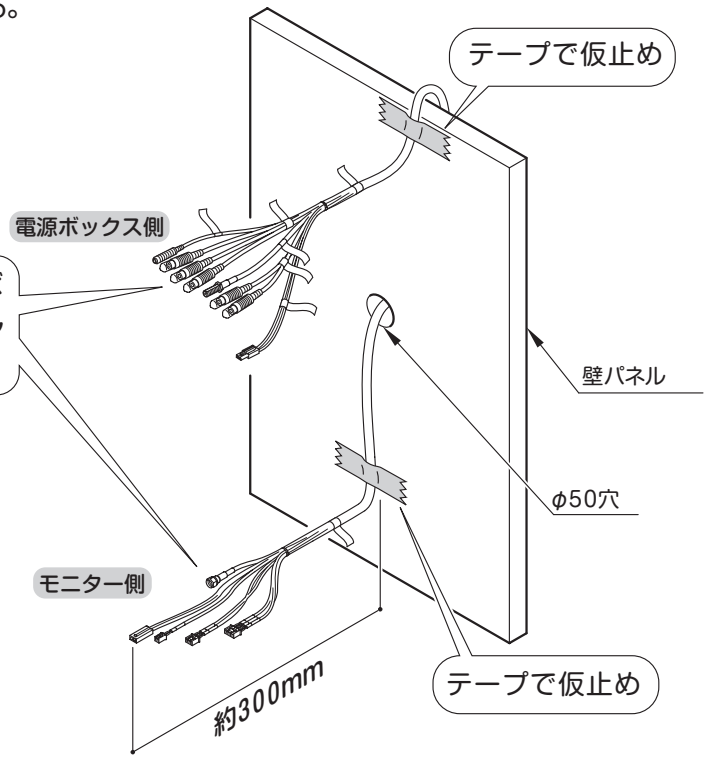
注意

穴あけ後は、浴槽内の清掃を行ってください。
もらいサビの原因となります。



3 ケーブルの設置【システムバスルーム】

壁パネル組立ての際、モニター中継ケーブルをφ50の穴に通し、反対側を壁パネル上側から内側に向けてかけ、落ちないようテープなどで仮固定する。



中継ケーブルのラベル（モニター側/電源ボックス側）を確認の上、正しい向きに設置してください。

注意

- ケーブルがφ50穴の小口などで傷つかないように注意してください。

4 電源ボックスの設置【システムバスルーム】

⚠警告

禁止

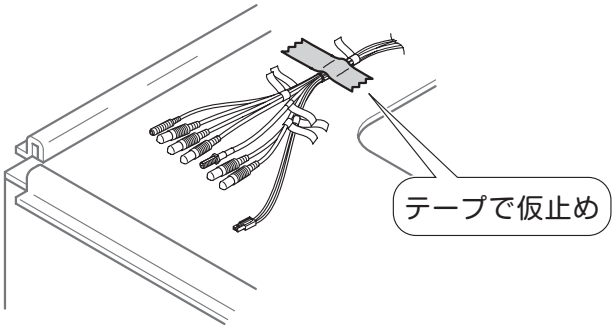
電源ボックスの上や横をグラスウールなどの保温材で覆わない
電源ボックスの上へは換気ダクトを設置しない
機器の故障や火災・漏電の原因となります。

注意

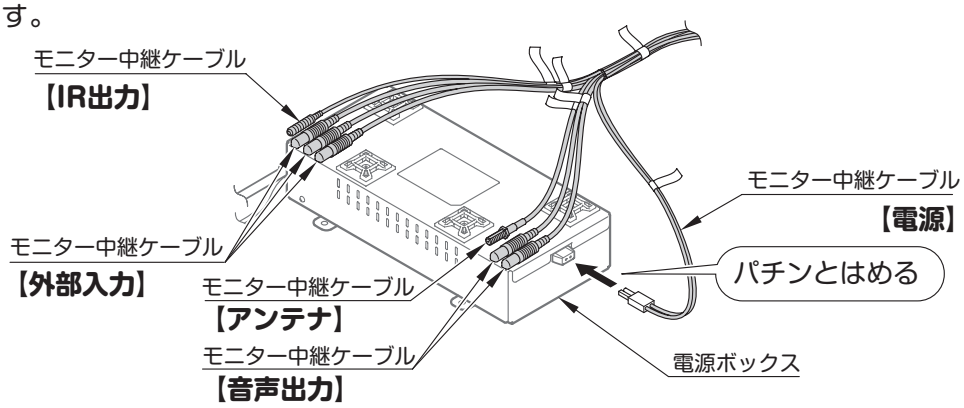
- 電源ボックスは必ず点検できる位置に設置してください。
- 中継ケーブルはなるべく他の電気機器から遠ざけて配線してください。
- 両面テープで貼付ける際、貼付け面のほこりなどをあらかじめ掃除してください。
- AV入力及び音声出力をしない場合は、ケーブルのキャップを外さないでください。
- 天井に保温材が貼ってある場合には電源ボックス設置部の保温材を約300×350程度はがし、天井に直接電源ボックスを設置してください。

4 電源ボックスの設置【システムバスルーム】（つづき）

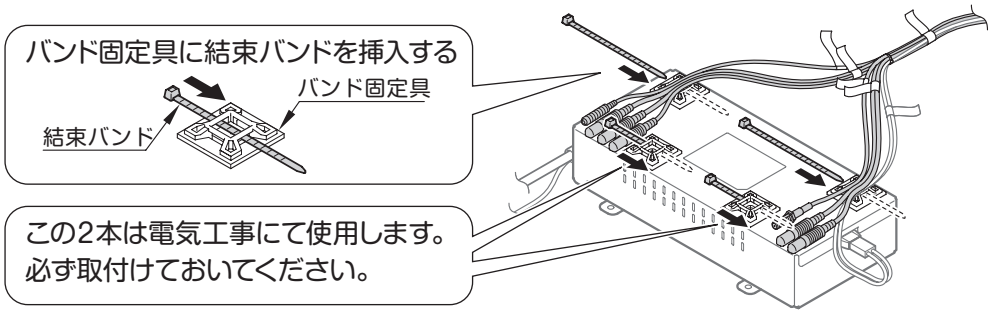
①天井パネル取付けの際、中継ケーブルを落とさないように天井裏面に取りまわし、
落ちないようテープなどで仮固定する。



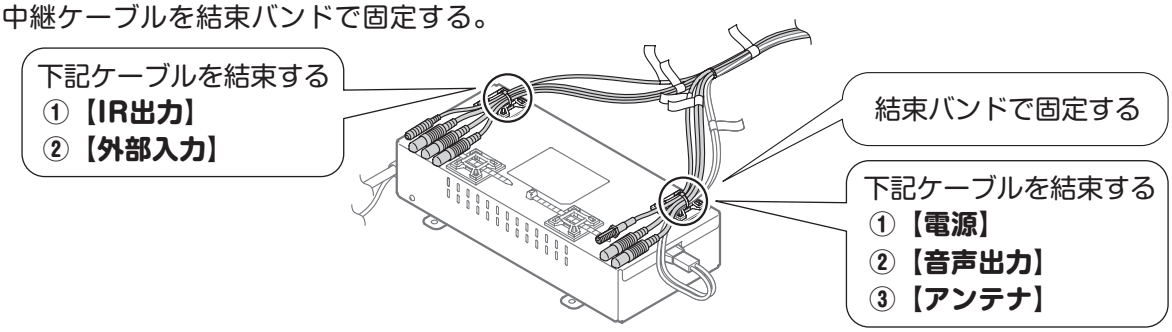
②電源ボックスにモニター中継ケーブル【電源】のコネクタを接続し、下図のようにケーブルを
取りまわす。



③電源ボックスの上面に付属の結束バンド（４本）を取付ける。



④中継ケーブルを結束バンドで固定する。



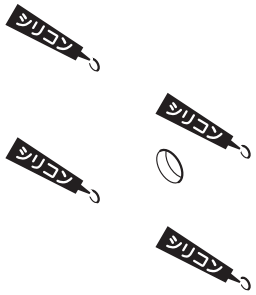
⑤中継ケーブルを天井裏にある他の機器商品からなるべく遠ざける。
※近い場合には電波障害を受けるおそれがあります。

●電源ボックス設置位置については、各システムバス本体の組立要領書を参照ください。
※電源ボックスは点検しやすい向きに設置してください。

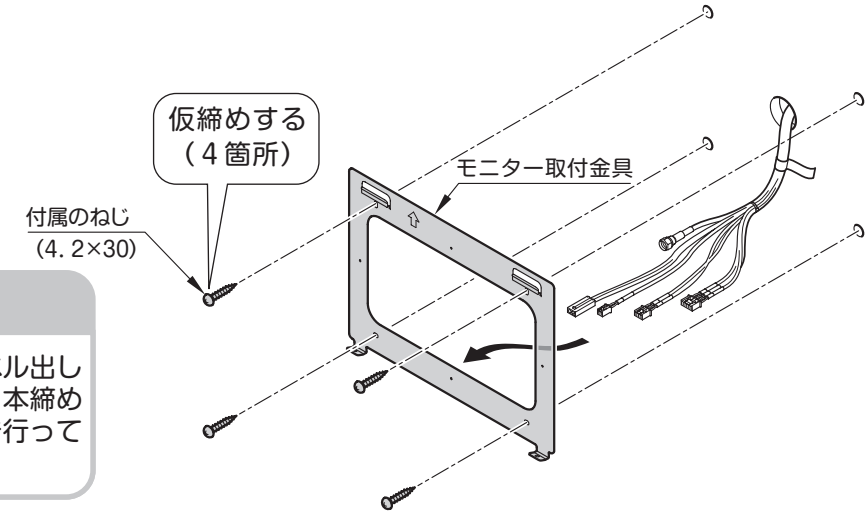
⑥位置が決まったら、電源ボックスの裏面の両面テープの保護紙をはがし、電源ボックスを固定する。

5 モニター取付金具の設置【システムバスルーム】

①「2 壁けがき・穴あけ」①の本体取付穴にシリコンを塗布する。



②モニター取付金具に付属のねじ（4. 2×30）で、モニター取付金具を仮締めする。

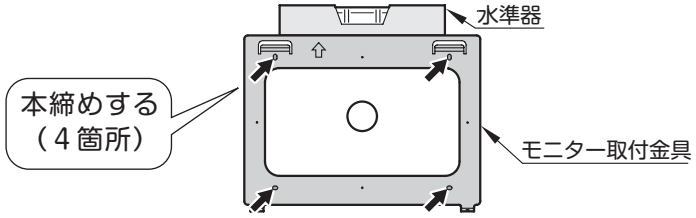


⚠注意

必ず実行

- このあと水平レベル出しを行いますので、本締めはせず、仮締めを行ってください。

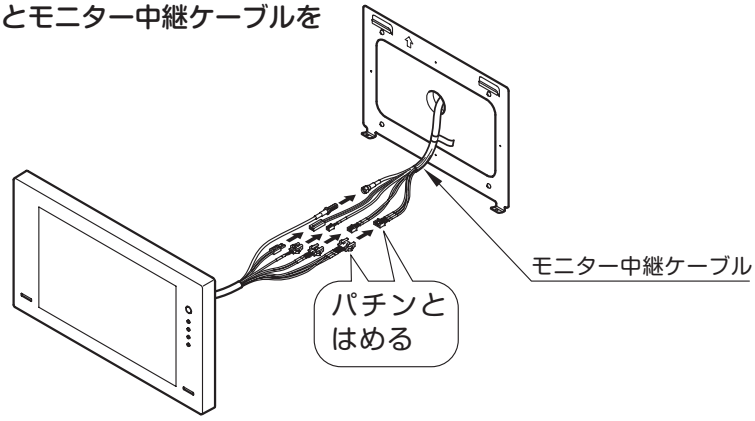
③モニター取付金具を仮設置した状態で水準器で水平を出しながら、ねじを本締めする。



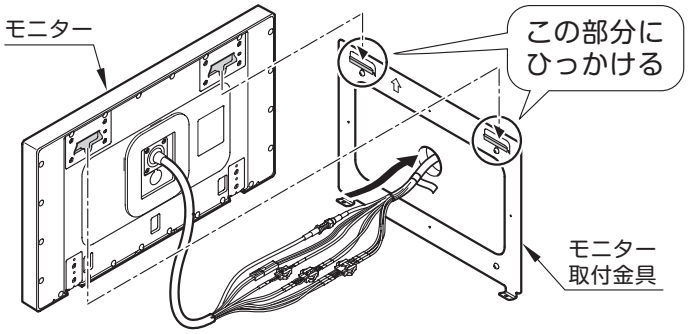
6 モニターの取付け【システムバスルーム】

タイル壁の場合は、18ページ「6.モニターの取付け【在来浴室】」へお進みください。

①モニターに付属のケーブルとモニター中継ケーブルを接続する。



②壁裏にケーブル類を納めながら、モニターをモニター取付金具にひっかける。

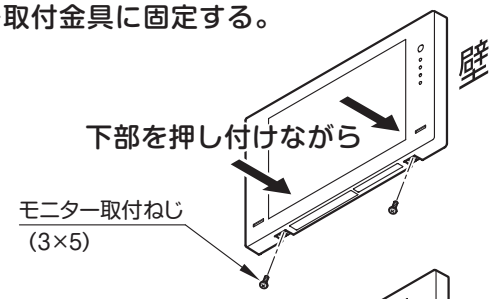


⚠注意

必ず実行

- モニター取付金具に確実に取り付けてください。モニターが落下し、破損するおそれがあります。
- ケーブルがφ50穴の小口などで傷つかないように注意してください。

③モニターを壁側へ押しつけながら、モニター取付ねじ（ビスカバーに同梱）でモニターをモニター取付金具に固定する。

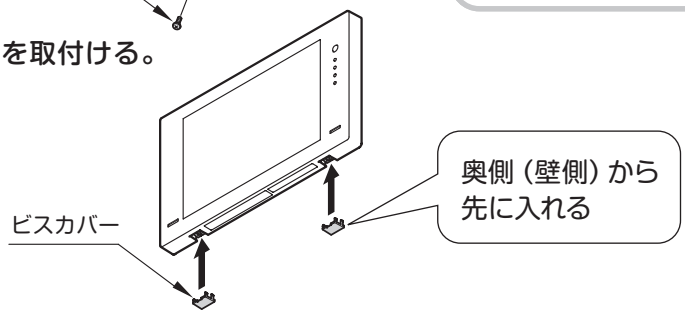


⚠注意

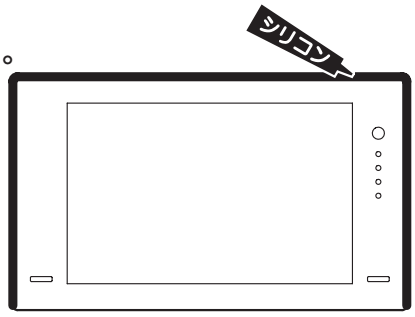
必ず実行

・ねじの締付けは、必ず手締めで行ってください。
電動ドライバーを使用するとねじ部が破損するおそれがあります。

④ビスカバーを取付ける。



⑤モニターの下辺を除く 3 辺にシリコンを切れ目なく塗布する。



⚠注意

必ず実行

確実な塗布を行う

●塗布が不備の場合は、モニター内に水が侵入し故障する原因となります。

その他

※システムバスルーム後付け時のご注意

●穴あけ前に必ずケーブル類の配線スペースがあることを確認してください。
●穴あけ位置にシステムバスルーム壁裏配管やケーブル類、建築側柱など干渉物がないことを確認してください。
●ケーブル類の壁裏配線は針金などを使用し実施してください。
この際、ケーブル類を傷つけないようご注意ください。

MEMO

MEMO

三谷商事株式会社 〒910-8510
福井県福井市豊島1-3-1 第3三谷ビル2F

TEL：0120-39-3484
受付時間：9:00 ～ 17:30（土日・祝日・弊社所定の休業日を除く）

メール：csupport@mitani-corp.co.jp
受付時間：24時間（土日・祝日・弊社所定の休業日を挟んだ場合は、ご回答までにお時間を頂く場合がございます。）

１４型ワイド地上デジタル浴室テレビ
組立要領書
MW14D-1
電気工事編

●この組立要領書は、試運転が完了するまで捨てないでください。
●システムバスルームに取付ける場合は、この組立要領書とシステムバスルーム組立要領書を合わせてご覧ください。

元請店様へ

必ず試運転の実施をお願いします。（実施結果はテレビに記録されます。）

UB組立業者様へ

電気工事業者様へこの組立要領書を確実にお渡しください。

電気工事業者様へ

試運転は電気工事終了後に行いますので、元請店様へ依頼のうえ、この組立要領書をお渡しください。

MN2MW14D114A

目　次

組立の前に		安全上のご注意	1
		工 具	3
		現場必要部材	3
		組立手順	5
		試運転に必要な部材	5
		セット部品の確認	6
		システム図	7
電気工事店実施事項		1．電源ケーブル・アンテナ線の接続	9
		2．外部機器用ケーブルの接続	10
		3．壁コンセントの取付け〈材工別〉	12
元請店実施事項	試運転	1．リモコンの準備	13
		2．電源の確認	14
		3．地上デジタル放送の設定	15
		4．こんなときは	19
		5．リモコンコードの設定[外部機器接続した場合]	20
		6．入力切替の確認	25
		7．外部機器を接続した場合の動作確認	25
		8．「自動チャンネルスキャン」の再実行[必要時のみ実施]	26
その他		※ システムバスルーム後付け時のご注意	28

安全上のご注意（必ずお守りください）

組立の前に、この安全上の注意をよくお読みの上、正しく据付けてください。

◎この組立要領書では、製品を安全に正しく取付けていただき、使用者への危害や財産への損害および組立業者への危害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味はつぎのようになっています。

⚠ **警告**	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ **注意**	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

◎下に示す絵表示は組立要領書や製品に表示して、組立業者の方に安全に正しく製品を取付けていただくものです。
内容をよく理解して正しく取付けてください。

禁　止	この絵表示は、行ってはいけない「禁止」の内容です。
必ず実行	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。
アース線接続	この絵表示は、必ずアース線を接続していただく「強制」の内容です。

◎組立完了後、試運転及び各部の点検を行い、器具のがたつきや漏電・水漏れなどの安全上の不具合が無いことを確かめてください。

◎同梱されている**取扱説明書は、**使用者に製品を正しく安全に使用していただくための**重要な書類**です。　紛失や汚れのないように大切に保管し、組立完了後、**必ず使用者または元請店にお渡しください。**

⚠ 警告

設置は、組立要領書にしたがって確実に行う
設置が不完全な場合、感電や火災などの原因となります。
また、漏水により家財などを汚したり、腐らせるおそれがあります。

交流１００V以外は使用しない
感電や発熱・火災の原因となるおそれがあります。

電気工事は関連する法令・法規にしがたって、必ず「有資格者（電気工事士）」が行う
接続や固定が不完全な場合は、火災や漏電のおそれがあります。

漏電遮断器が取付けられていることを確認する
もし取付けられていなければ電気工事店へ依頼して必ず取付けてください。
感電するおそれがあります。

開梱後、不要になった梱包材はすみやかに処分する
段ボールや締付バンドなどでケガをするおそれがあります。
また、ビニール袋などは子供などがかぶって遊び、思わぬ事故につながるおそれがあります。

製品の改造や分解は行わない
火災や感電、落下による傷害のおそれがあります。

⚠ 注意

組立に使われる溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品類は、容器などに記載の注意表示にしたがって、正しく使用する
誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因につながるおそれがあります。

機器の取付けは、確実に行う
止水不良による漏水のおそれがあります。

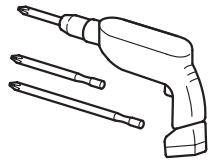
⚠ 取付け前のご注意

- テレビ取付けの際、必要に応じ壁裏補強を実施してください。
- スチームサウナ等、高温（５０℃を超える）になる場合には取付けはできません。
- 浴室乾燥機のある浴室に取付ける場合は、温風が浴室テレビに直接あたらない場所をお選びください。
- 屋外から直射日光のあたる場所への取付けは避けてください。
- 薬品を使用するなど通常環境と異なる場所への取付けはできません。
- 正面から浴室テレビを見ることができる位置に取付けてください。
- 受信可能チャンネルは地上デジタル放送００１～９９９です。
  BS、CS放送等のチューナーは内蔵していません。
- このテレビは日本国内のみで使用できます。
  外国では、放送方式・電源電圧が異なりますので使用できません。

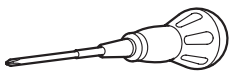
工　具

※在来浴室への取付けには、下記以外の工具が必要となる場合があります。
現場に合わせて、工具を準備してください。

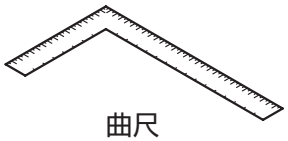
□:電気工事で使用するもの



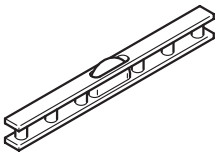
□:ドライバービット
⊕短・長 No.2・3（先端サイズ）
電動ドライバー（トルク調整機能付）



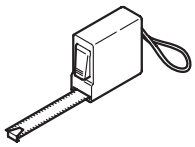
□:短寸のドライバー
（100mm以内）
⊕ No.2（先端サイズ）



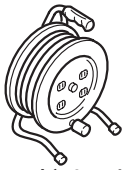
曲尺



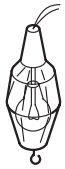
水平器



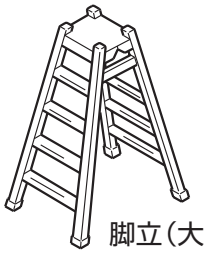
金尺



コードリール



作業灯



脚立（大・小）

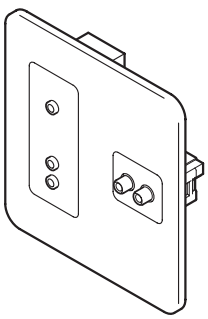
現場必要部材

※お客様がテレビと外部機器の接続を希望される場合は、
取付けに必要となりますので別途手配ください。

⚠注意

必ず実行

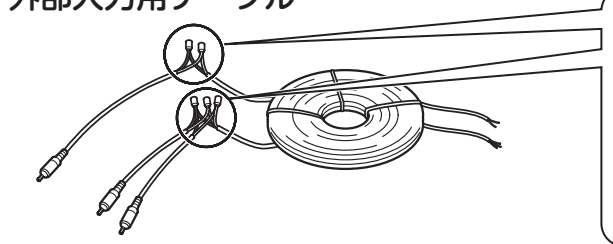
- 高周波同軸ケーブル（映像用）/OCFシールド線（音声用）＋市販のRCARCAピンプラグ接続コード、OCFシールド線（外部コントロール用）＋市販のφ3.5モノラルミニプラグ接続コードはそれぞれ合計20m以内にしてください。
20mより長いと浴室テレビのリモコンで外部機器を操作できない場合があります。



部品	数量
AV用信号コンセント （パナソニック電工（株）製 WN4822　相当品）	1
オーディオ用信号コンセント （パナソニック電工（株）製 WN4821　相当品）	1
取付枠 （パナソニック電工（株）製 WN3710　相当品）	2
プレート（プレートカバー、プレート枠） （パナソニック電工（株）製 WN6074W 相当品）	1

※壁コンセント設置時は、電力配線と弱電流電線を分離してください。

外部入力用ケーブル

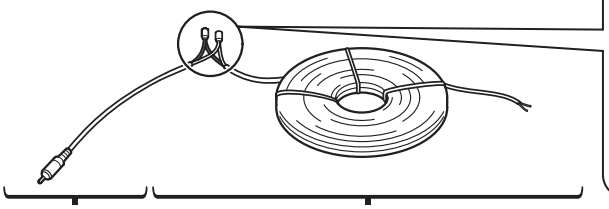


市販のRCAピンプラグ接続コード（映像×1、音声×2）（※1）に高周波同軸ケーブル3C-2Vまたは3C-2VS（映像用）・OFCシールド線（メガネ平行シールド線）芯線断面積0.23mm²以上（音声用）を圧着し、使用してください。
（※1の長尺品をカットしての使用も可。ケーブルを接続する場合は必ず合計20mm以内としてください。）

RCAピンプラグ
接続コード（市販品）

映像用：日立電線（株）製　高周波同軸ケーブル3C-2Vまたは3C-2VS　相当品
音声用：パナソニック電工（株）製　オーディオ用シールド線AD-RDAFW**　相当品
※ **は長さを示します。（15：15m、30：30m、45：45m、60：60m）

外部コントロール用ケーブル



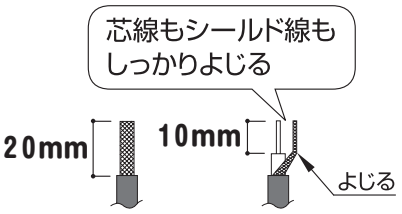
市販のφ3.5モノラルミニプラグ接続コード（※2）にOFCシールド線（1芯または2芯）芯線断面積0.1mm²以上、外径φ2.7以上（外部コントロール用）を圧着し、使用してください。
（※1の長尺品をカットしての使用も可。ケーブルを接続する場合は必ず合計20mm以内としてください。）

φ3.5モノラル
ミニプラグ
接続コード（市販品）

外部コントロール用：日立電線（株）製　UL2552-SW　2×26AWG（7/0.16）LF　相当品

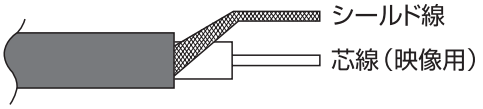
外部入力用ケーブル・外部コントロール用ケーブルの処理方法

ケーブルの切断した端を右図のように処理しておきます。
外皮は20㎜、芯線は10㎜ほどむいておき、しっかりよじっておきます。

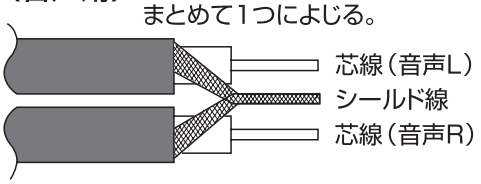


外部入力用ケーブル

〈映像用〉シールド線と芯線（映像用）をそれぞれしっかりよじっておく。

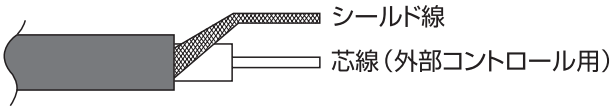


〈音声用〉芯線（音声L,音声R）をそれぞれよじり、シールド線は芯線の間でまとめて1つによじる。

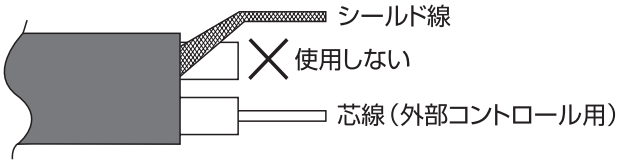


外部コントロール用ケーブル

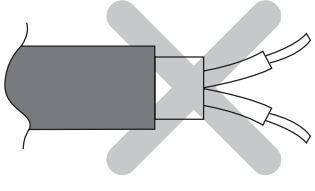
1芯の場合　シールド線と芯線（外部コントロール用）をそれぞれしっかりよじっておく。



2芯の場合　シールド線と芯線（外部コントロール用）1本をそれぞれしっかりよじっておく。

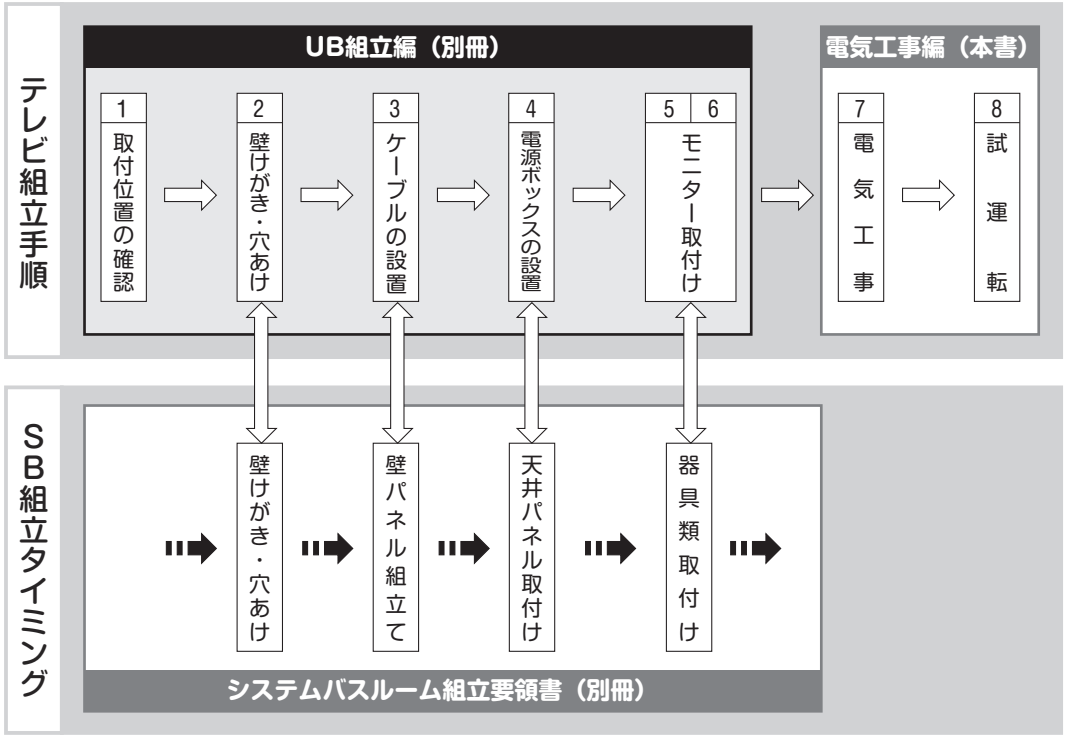


※シールド線を使用せずに、2芯のケーブルを2本使用すると、故障や動作不良の原因となります。



組立手順

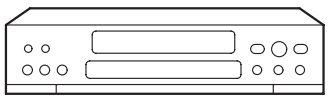
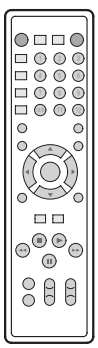
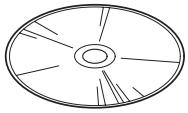
※システムバスルーム取付けの場合は、システムバスルーム組立にあわせて取付けてください。
※在来浴室取付けや後付けの場合は現場にあわせて変更してください。



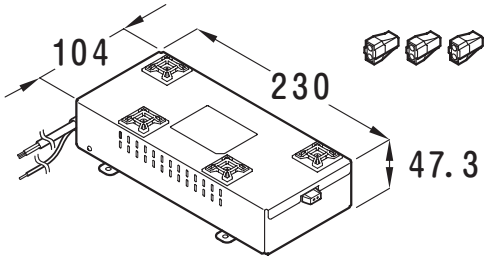
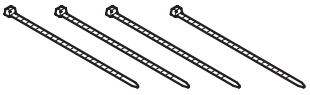
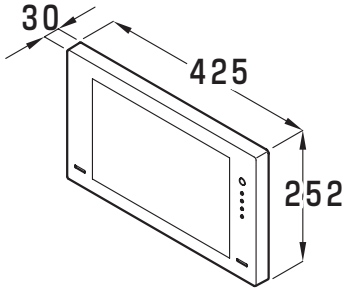
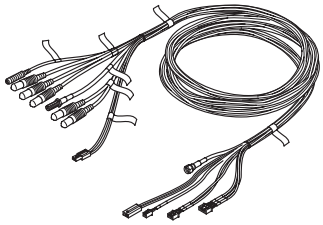
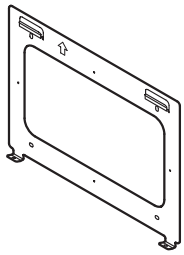
試運転（元請店実施）に必要な部材

お客様がテレビと外部機器の接続を希望される場合のみ必要です。

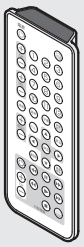
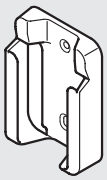
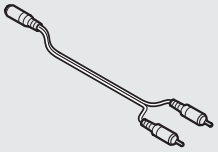
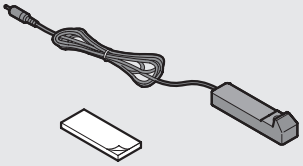
リモコン付の映像機器（DVDなど）

本体	リモコン	再生するＤＶＤなど
		
AVコード		

セット部品の確認

電源ボックス・電源線接続コネクタ3個 	結束バンド ※電源ボックスに同梱　4本 	ビスカバー
防水モニター（以下モニター） 	モニター中継ケーブル （3500mm） 	モニター取付金具 
モニター取付金具取付ねじ　4.2×30、4本		
モニター取付ねじ ※ビスカバーに同梱　3×5、2本		
樹脂製アンカー　φ4用、4本		
組立要領書［UB組立編］		
組立要領書［電気工事編］（本書）		

★リモコン、リモコンホルダー、ボタン型電池、取扱説明書、外部コントロール用変換ケーブル、LEDケーブルは、使用者または元請店に確実にお渡しください。
また保管の際は直射日光のあたる場所（窓際など）に置かないでください。

防水リモコン（以下リモコン） （お客様引渡部品） 	リモコンホルダー （お客様引渡部品） 
外部コントロール用 変換ケーブル （お客様引渡部品） 	LEDケーブル （お客様引渡部品）  （両面テープ：1枚）
ボタン型電池 CR2032　※ リモコンに同梱 （お客様引渡部品）	取扱説明書　（お客様引渡部品）

システム図 （テレビ接続部分）

⚠注意

必ず実行

•落雷に備えて、アンテナ設備にアースを取るか、保安器を必ず設置してください。

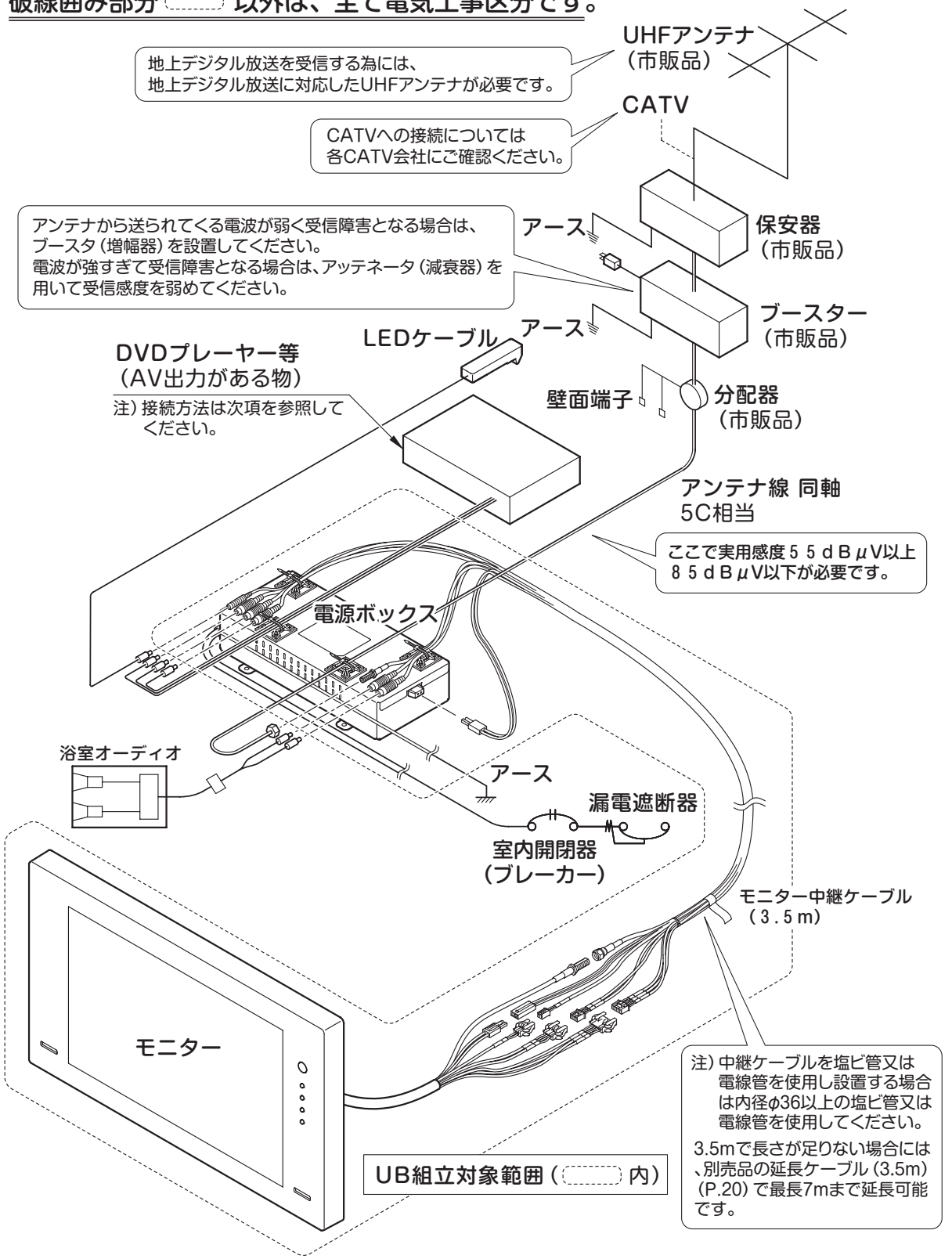
⚠注意

必ず実行

•取付の際は、必ず屋内開閉器（ブレーカー）と漏電遮断器を設置してください。

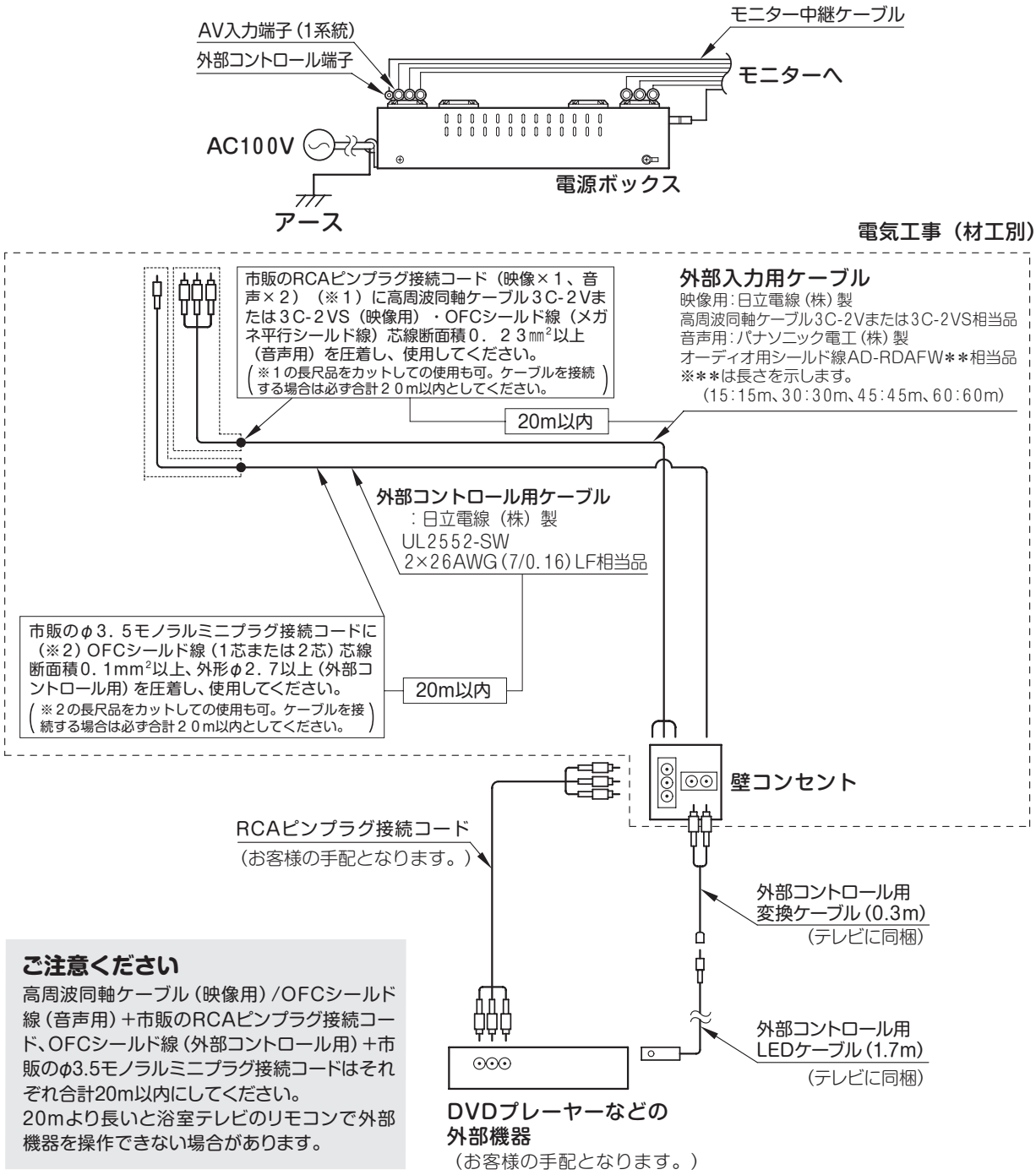
※電気工事で配線します。

破線囲み部分（- - -）以外は、全て電気工事区分です。



システム図 （外部機器接続部分）

内が電気工事店様の作業範囲となります。



ご注意ください

高周波同軸ケーブル（映像用）/OFCシールド線（音声用）＋市販のRCAピンプラグ接続コード、OFCシールド線（外部コントロール用）＋市販のφ3.5モノラルミニプラグ接続コードはそれぞれ合計20m以内にしてください。
20mより長いと浴室テレビのリモコンで外部機器を操作できない場合があります。

⚠注意

【設置前にご確認ください】

必ず実行

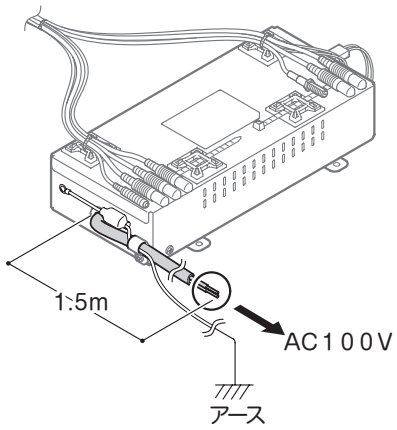
- 電源ボックスから壁コンセントまでのケーブルは合計２０m以内としてください。
  ケーブルが届く範囲に壁コンセントを確実に設置できるか確認してください。
- 壁コンセント設置位置はお客様と十分ご相談してください。
  壁コンセントから外部機器までケーブル長さ（合計２m）の制限があります。
- 電源ボックスから壁コンセントまで壁裏ケーブル配線が可能か確認してください。

電気工事店実施事項

1 電源ケーブル・アンテナ線の接続

電気工事は電工事業者へ依頼してください。

①電源ケーブルを接続する。
※電源ボックス付属の電源ケーブル(VVF 1.5m)を電源に接続してください。
※アース工事(接地工事)を必ず行ってください。



⚠警告

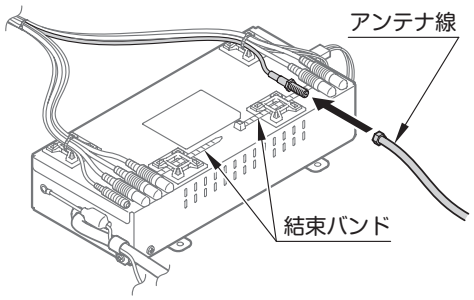
必ず実行
必ず漏電遮断器および屋内開閉器のある電路に接続する
- 感電するおそれがあります。

アース線接続
電気工事は関連する法令・法規にしたがって必ず「有資格者（電気工事士）」が行う。また、アース接続は必ず行う。
- 誤った工事を行うと、故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

⚠注意

必ず実行
電源は１００Vを接続する。
- ２００Vを接続されると故障の原因となります。

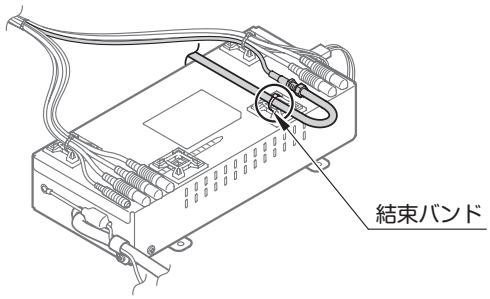
②アンテナ線をモニタ中継ケーブルに接続する。
※モニター中継ケーブルのF型端子（アンテナ端子）に接続してください。



⚠注意

必ず実行
- アンテナ端子への入力電界は７０ｄＢμＶを目安にしてください。
- 受信可能な放送は地上デジタル放送／ＣＡＴＶです。ＢＳ、ＣＳ放送等のチューナーは内蔵していません。

③アンテナ線を電源ボックス付属の結束バンドで固定する。
※音声出力ケーブルが接続されている場合には音声出力ケーブルをまとめて固定する。

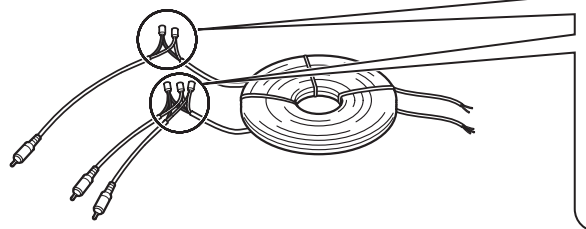


2 外部機器用ケーブルの接続

はじめに
お客様がテレビと外部機器の接続を希望される場合は、取付に必要となりますので別途手配してください。

①ケーブルを設置する。

外部入力用ケーブル

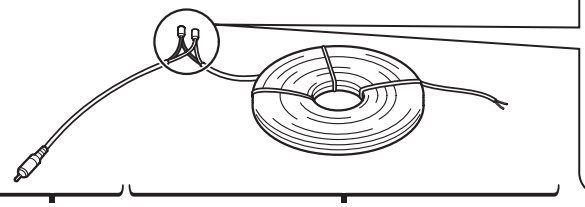


市販のRCAピンプラグ接続コード（映像×１、音声×２）（※１）に高周波同軸ケーブル３C-２V または３C-２VS（映像用）・OFCシールド線（メガネ平行シールド線）芯線断面積０.２３mm^{2}以上（音声用）を圧着し、使用してください。
（※１の長尺品をカットしての使用も可。ケーブルを接続する場合は必ず合計２０mm以内としてください。）

RCAピンプラグ
接続コード（市販品）

映像用：日立電線（株）製　高周波同軸ケーブル３C-２Vまたは３C-２VS　相当品
音声用：パナソニック電工（株）製　オーディオ用シールド線AD-RDAFW＊＊　相当品
※ ＊＊は長さを示します。（１５：１５m、３０：３０m、４５：４５m、６０：６０m）

外部コントロール用ケーブル



市販のφ３.５モノラルミニプラグ接続コード（※２）にOFCシールド線（１芯または２芯）芯線断面積０.１mm^{2}以上、外径φ２.７以上（外部コントロール用）を圧着し、使用してください。
（※１の長尺品をカットしての使用も可。ケーブルを接続する場合は必ず合計２０mm以内としてください。）

φ３.５モノラル
ミニプラグ
接続コード（市販品）

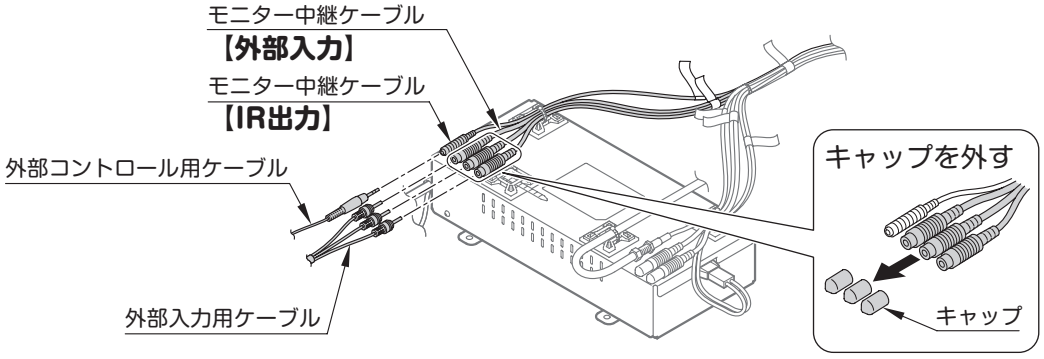
外部コントロール用：日立電線（株）製　UL２５５２-SW　２×２６AWG（７/０．１６）LF　相当品

⚠注意

必ず実行

・高周波同軸ケーブル（映像用）/OFCシールド線（音声用）+市販のRCAピンプラグ接続コード、OFCシールド線（外部コントロール用）+市販のφ３.５モノラルミニプラグ接続コードはそれぞれ合計２０m以内にしてください。２０mより長いと浴室テレビのリモコンで外部機器を操作できない場合があります。

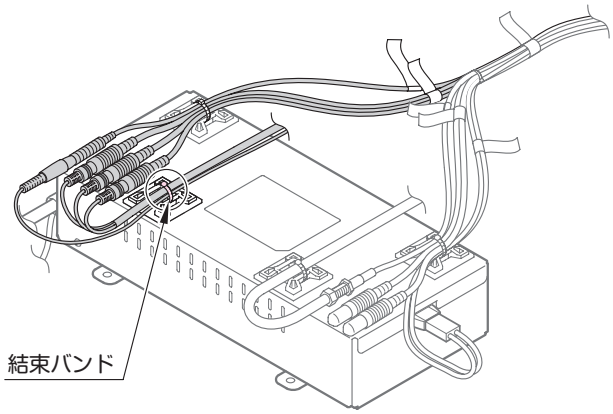
②外部入力用ケーブルと、外部コントロール用ケーブルをモニター中継ケーブルに接続する。



電気工事店実施事項

2 外部機器用ケーブルの接続（つづき）

③ケーブルをまとめて電源ボックス付属の結束バンドで固定する。



⚠注意

必ず実行

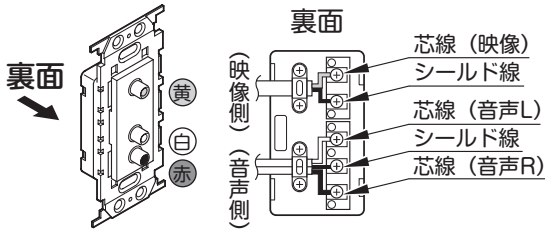
外部機器との接続ケーブルがあまった場合、ケーブルを束ねない

- 束ねると外部機器の操作に支障が生じる可能性があります。

3 壁コンセントの取付け〈材工別〉

①市販のAV用信号コンセント（パナソニック電工製 WN４８２２相当品）、オーディオ用信号コンセント（パナソニック電工製 WN４８２１相当品）、取付枠（パナソニック電工製 WN３７１０相当品）、プレート枠、プレートカバー（パナソニック電工製 WN６０７４W相当品）を用する。
②AV用信号コンセントとオーディオ用信号コンセントの裏面にケーブルを接続する。
③市販の取付枠を壁に取付ける。（市販のねじ４本使用）
④市販のプレート枠を取付枠に取付ける。（プレート枠に付属のねじ４本使用）
⑤市販のプレートカバーをはめ込む。

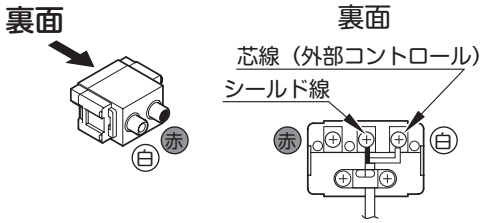
AV用信号コンセント①または②（別途手配）



⚠注意

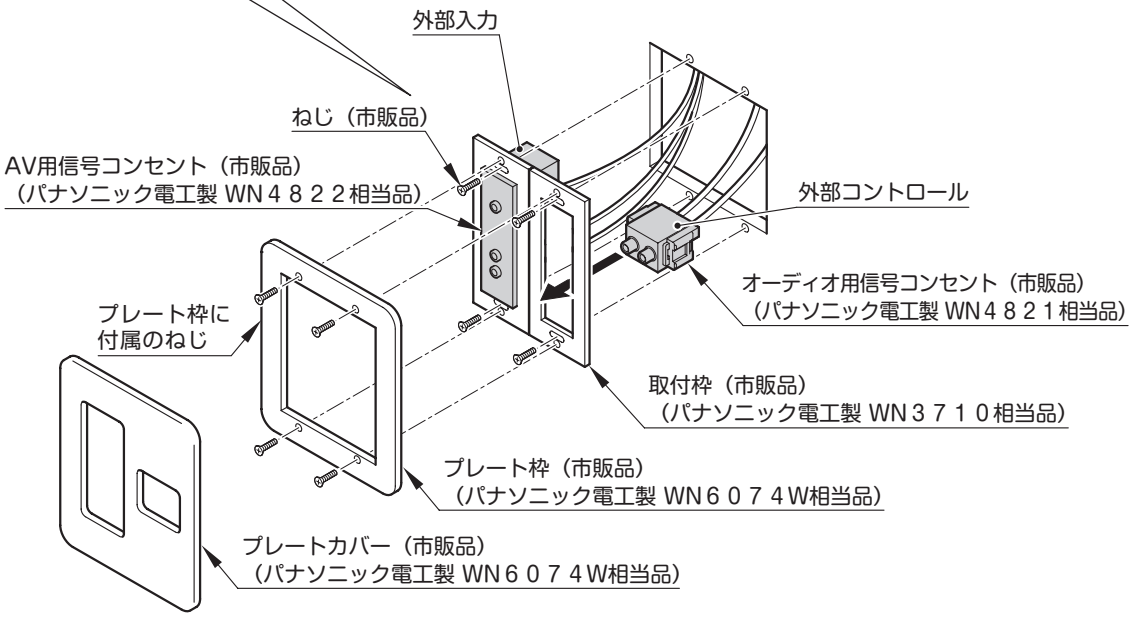
必ず実行 ケーブル押え金具を締めつける際、ケーブルをはさみ込まないように注意する

オーディオ用信号コンセント（別途手配）



⚠注意

必ず実行 ケーブル押え金具を締めつける際、ケーブルをはさみ込まないように注意する



⚠注意

【壁開口前にご確認ください】

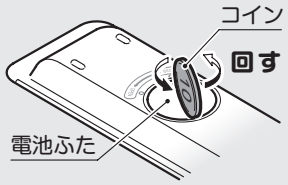
必ず実行 電源ボックスから壁コンセントまでのケーブルが届くことを確認する
壁コンセントから外部機器までケーブルが届くことを確認する
- 壁コンセントから外部機器までのケーブルは２mです。
（元請店様と十分ご相談してください。）

試運転

1リモコンの準備

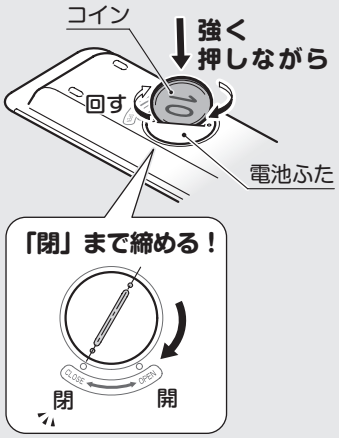
リモコンにボタン電池を入れてください

①リモコン裏面の電池ふたを
回して開ける。
※コインなどを使用してください。



②ボタン型電池を入れる。
※プラス ⊕ を手前に！

③電池ふたを強く押しながら
回し「閉」まで締める。



※ 電池の ⊕⊖ は正しい向きに入れてください。

⚠ 注意

必ず実行

電池交換は必ず水滴などを拭き取ってから行う

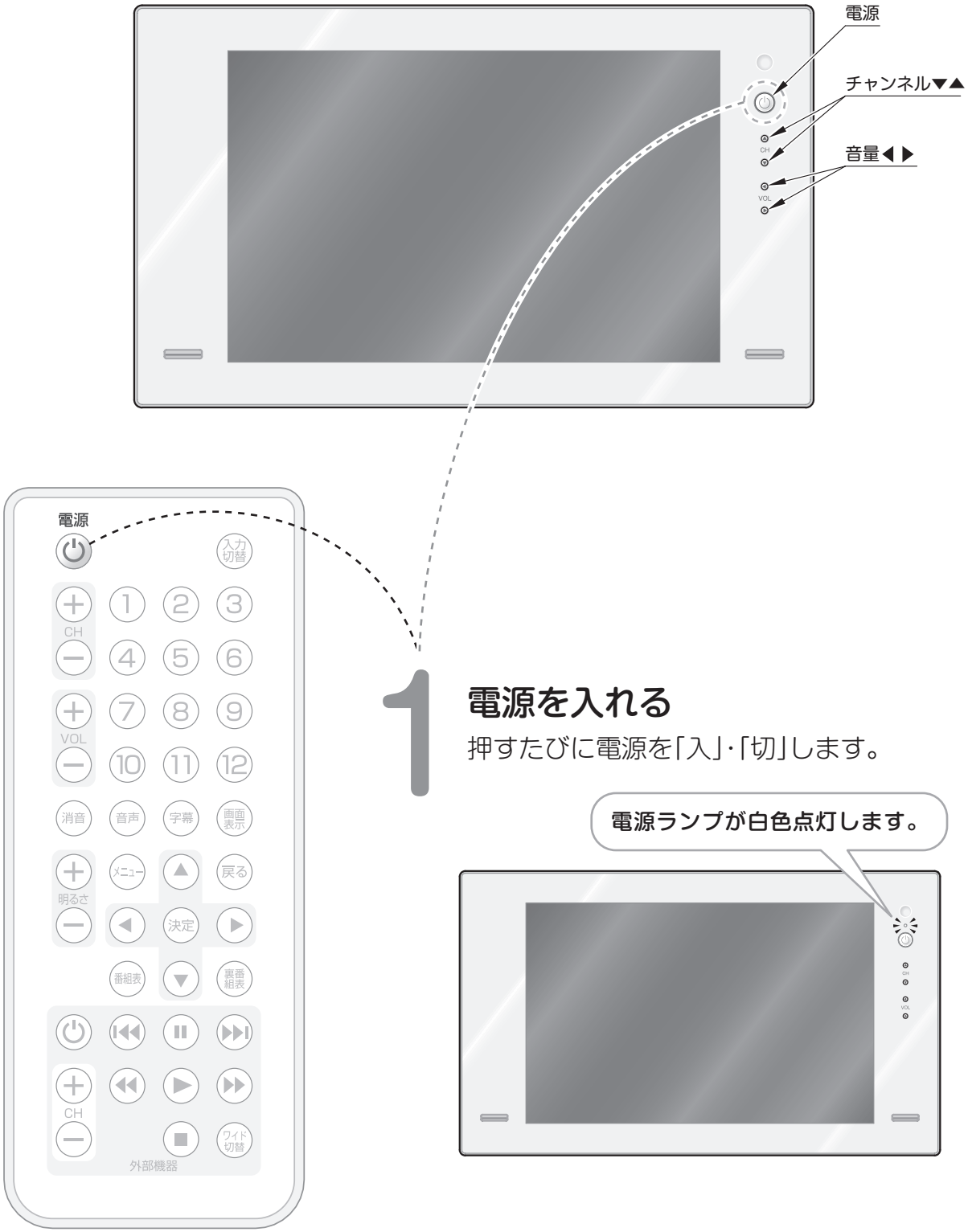
- リモコン内部に水が入ると故障します。

※ リモコンは、画面右上の受光部に向けて操作します。
操作できる範囲は、受光部から約5m、上下左右に約30度以内です。
※ リモコンとモニターの間に障害物があったり、リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の光などがあたっている場合は、正しく動作しない場合があります。

2電源の確認

1次側電源およびアンテナ接続後に確認してください

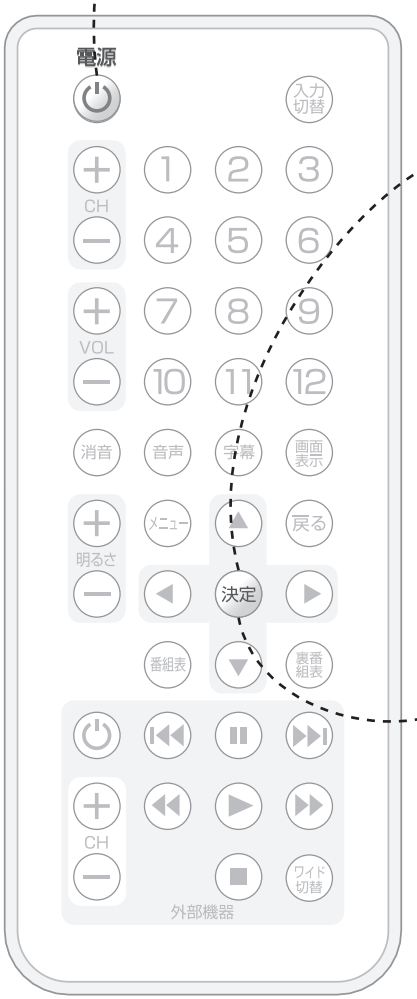
「電源」ボタンを押し、電源が入ることを確認してください。



1 電源を入れる

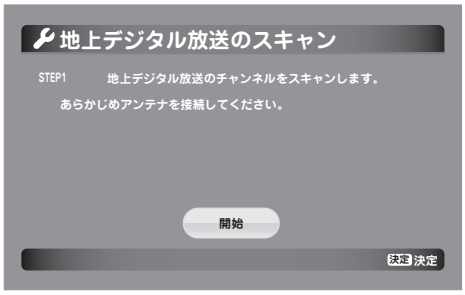
押すたびに電源を「入」・「切」します。

3 地上デジタル放送の設定



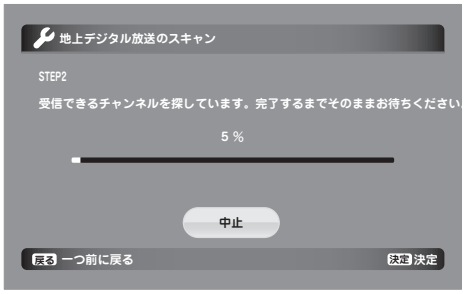
1 電源スイッチを押し、電源を入れる

「地上デジタル放送のスキャン」画面が表示されます。



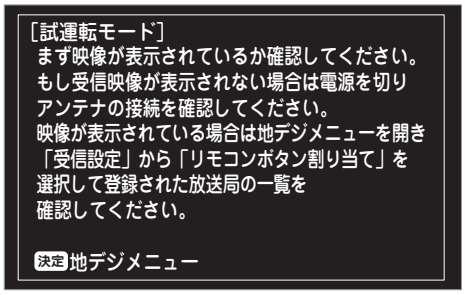
2 決定ボタンを押す

「地上デジタル放送のスキャン」が開始されます。



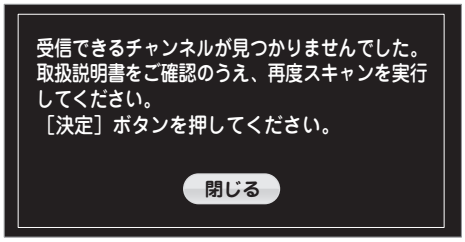
3 試運転モードの手順に従って、受信設定を確認し、決定ボタンを押す

地上デジタル放送のスキャンが終了すると、画像が映り、試運転モードの手順が表示されます。

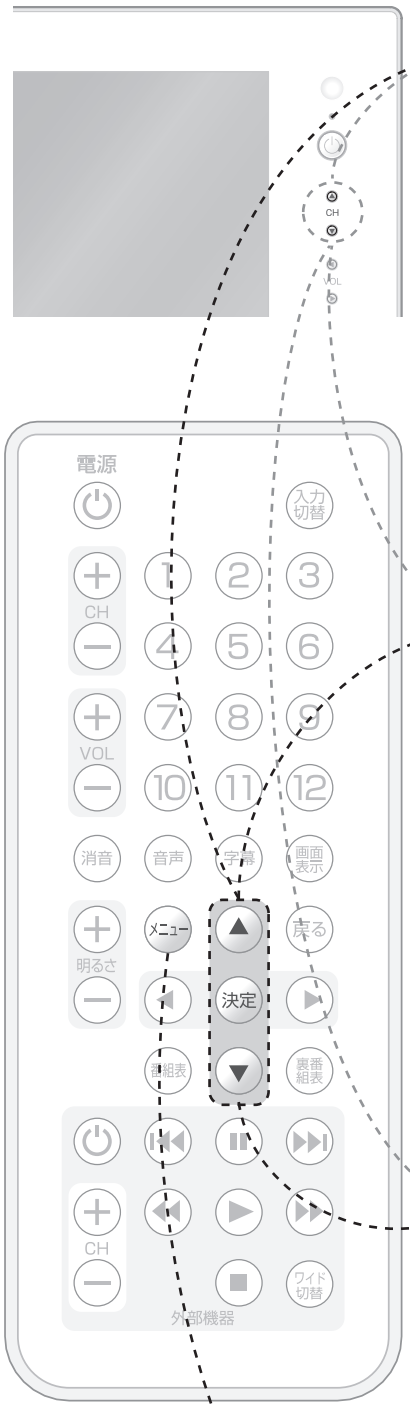


映像が映らない場合、アンテナ線を確認してください。確認後、再度地上デジタル放送のスキャンを行ってください。（P.26参照）

右記画面が表示され、外部入力モードで使用する場合は、そのまま決定ボタンを押した後、7 に進んでください。

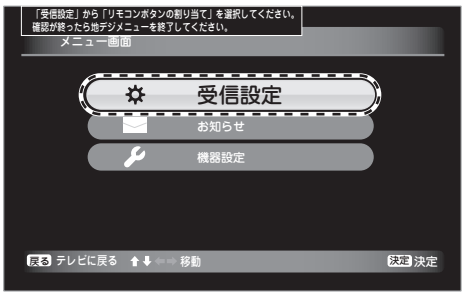


3 地上デジタル放送の設定（つづき）



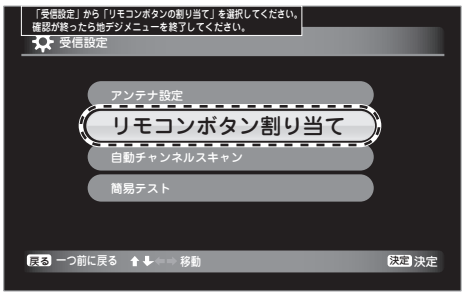
4 モニターのチャンネルまたはリモコンの▼▲ボタンで「受信設定」を選び、決定ボタンを押す

受信設定画面が表示されます。

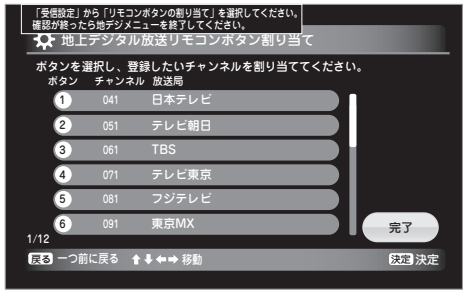


5 モニターのチャンネルまたはリモコンの▼▲ボタンで「リモコンボタン割り当て」を選び、決定ボタンを押す

リモコン割り当て画面が表示されます。



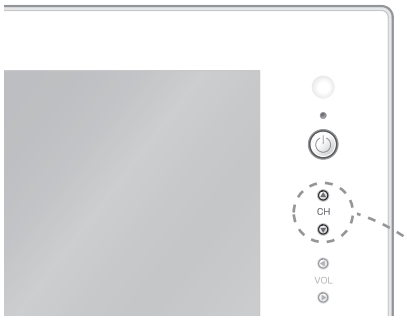
6 モニターのチャンネルまたはリモコンの▼▲ボタンで登録された放送局の一覧を確認する

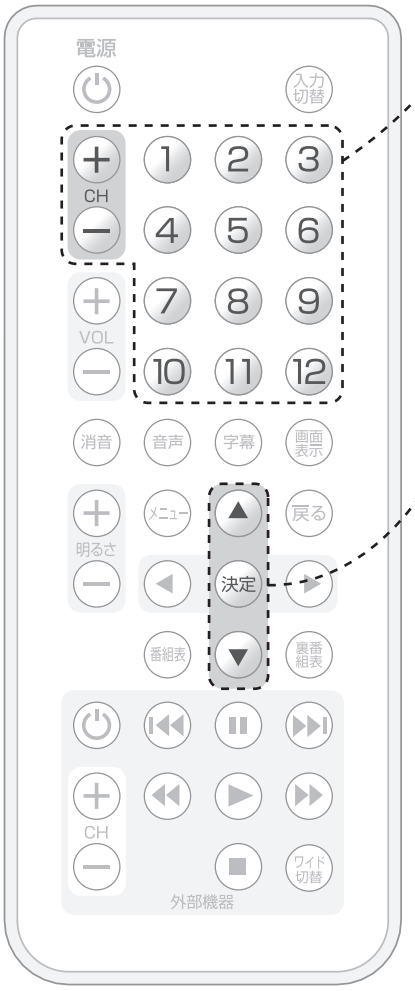


7 メニューボタンを押す

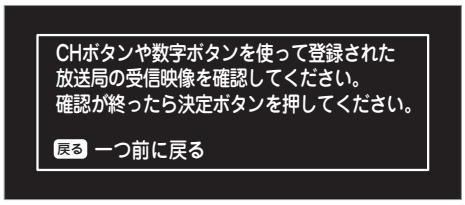
地デジメニューを終了します。

3 地上デジタル放送の設定（つづき）





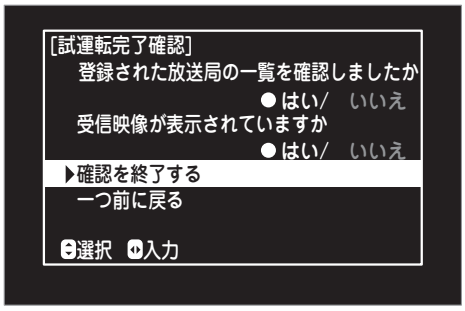
8 CHボタンや数字ボタンを使って登録された放送局の受信映像を確認し、決定ボタンを押す



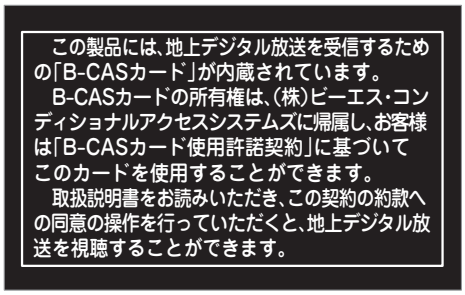
外部入力モードで使用する場合は、そのまま決定ボタンを押して9に進んでください。

9 モニターのチャンネルまたはリモコンの▼▲ボタンで確認した項目を「●はい」に変更後、「確認を終了する」を選択し、決定ボタンを押す

画面に従って、試運転完了確認を行います。



B−CASカード使用許諾契約約款への同意メッセージが表示されれば、地上デジタル放送の設定は終了です。



外部入力モードで使用する場合は、ここで入力切替ボタンを押して外部入力に切替えてください。その後、電源を切り設定完了となります。

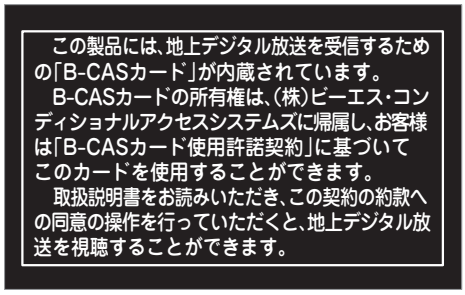
B-CASカード使用許諾契約約款への同意メッセージは、お客様に取扱説明書(P9)のB-CASカード使用許諾契約約款をご確認いただき、同意していただく内容です。
同意していただくことでメッセージが消え、地上デジタル放送を視聴することができます。
※約款への同意作業を行わないとメッセージが表示されたままになります。

3 地上デジタル放送の設定（つづき）

お客様のご要望により、引き続きリモコンコードの設定等を行う場合には、お客様にB-CASカード使用許諾契約約款に同意していただいた後に、以下の手順で約款への同意作業を行ってください。

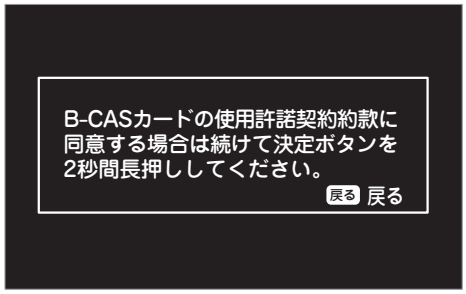
10 下記画面が表示されているときに、戻るボタンを２秒間長押しする

メッセージ画面が切り替わります。



11 下記画面が表示されているときに、決定ボタンを２秒間長押しする

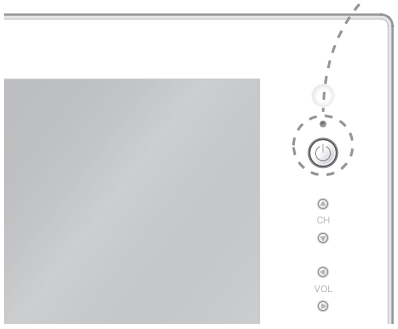
メッセージ画面が消えます。



以上の動作で約款同意が成立したとみなされ、正常視聴が可能になります。

12 モニターの電源を切る

電源ランプが消灯します。



4 こんなときは

試運転の際、故障かな？と思ったら

不具合の内容	チェックポイント
電源が入らない	電源は正しく接続されていますか？ 屋内開閉器はオンになっていますか？ →電源を正しく接続し、電源をオンにしてください。 ※初めて電源をオンにする際は、地上デジタルチューナーに電気を供給する時間が必要なため、約1分待った後にモニターをオンにしてください。
映像が映らない	モニター中継ケーブルは正しく接続されていますか？ アンテナは正しく設置されていますか？ →アンテナ線およびアンテナを正しく接続・設置してください。 地上デジタル放送を受信するためには、地上デジタル放送に対応したUHFアンテナが別途必要です。
映像が悪い	モニター中継ケーブルはしっかりと接続されていますか？ アンテナ線が他の電気機器の上を通ったりしていませんか？ アンテナの向きは正しいですか？ 周囲に雑音となる原因がありませんか？ →モニター中継ケーブルをしっかりと接続し、アンテナ配線およびアンテナの向きを調整してください。また雑音の原因を取り除いてください。
リモコンが動作しない	電池は入っていますか？ 電池の極性⊕⊖は正しい向きに入っていますか？ リモコンのボタン型電池が消耗していませんか？ →電池の確認を行ってください。 リモコンを本機のリモコン受光部に向けて操作してますか？ リモコン受信部やテレビ本体のリモコン受光部が汚れていませんか？ →清掃後、正しく使用ください。

モニターにメッセージ表示があった場合

メッセージ表示　放送波を受信できません。
天候が悪いか、アンテナまたはアンテナ線の接続に問題がある可能性があります。
（E２０２）

チェックポイント　アンテナ線の設置状況・接続を確認してください。

メッセージ表示　B－CASカードが正しく挿入されていません。B－CASカードをご確認ください。

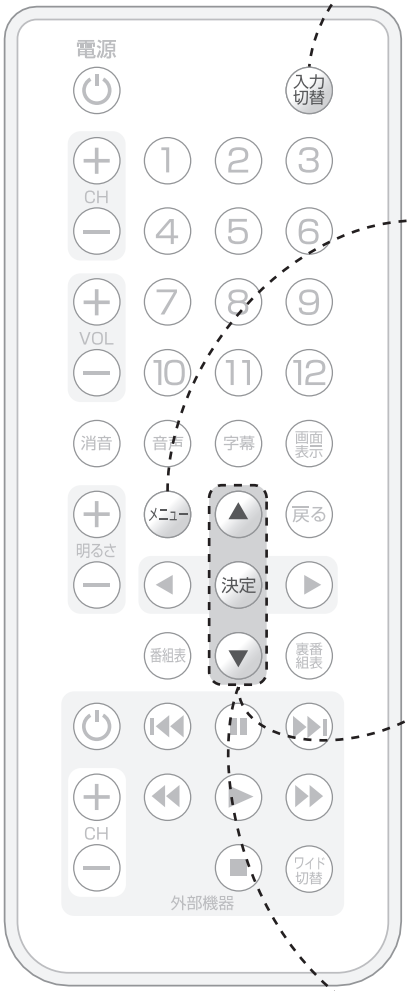
チェックポイント　故障が想定されます。販売店までお問い合わせください。

※ 同梱のリモコン（ボタン型電池入り）、リモコンホルダー、取扱説明書、外部コントロール用変換ケーブル、LEDケーブルは取扱説明書の袋に入れ、お客様に確実にお渡しください。

5 リモコンコードの設定[外部機器接続した場合実施]

浴室テレビのリモコンに接続した外部機器(DVDプレーヤー等)のボタンを割り当てます。

- 外部機器(DVDプレーヤー等)付属のリモコンから発信される信号を、浴室テレビに登録することで、DVDプレーヤー等を浴室内から操作することができます。
  ※ご使用になる外部機器によっては、操作できない場合や特定のボタンが使用できない場合があります。
- このリモコンコードの設定には、外部機器(DVDプレーヤー等)付属のリモコンが必要です。
- 以下、外部機器がＤＶＤプレーヤーの場合を例にして説明します。
  手順に従ってリモコンコードを設定してください。
- リモコンコード設定時に外部機器付属のリモコンをお使いになる場合、
  浴室内が乾燥した状態でお使いください。(外部機器付属のリモコンは、防水でない場合があります。)

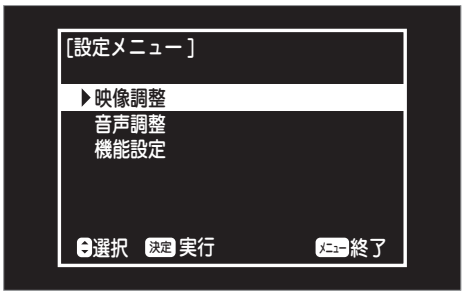


1 入力切替ボタンを押す

設定したい入力に切り替えます。

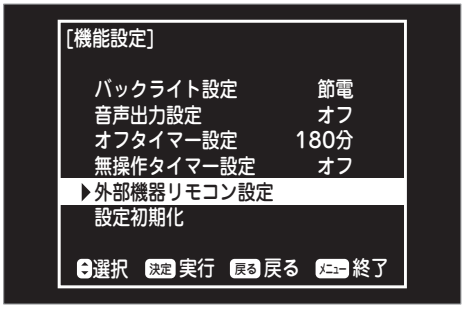
2 メニューボタンを押す

設定メニューになります。

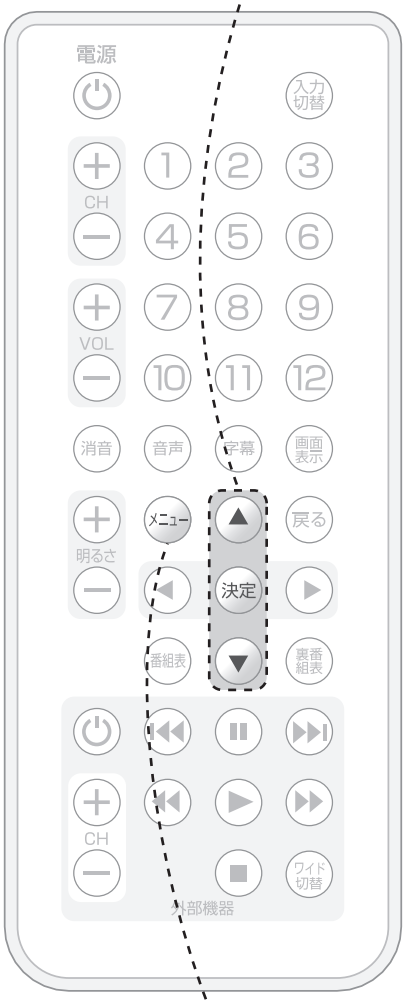


3 ▼▲ボタンで「機能設定」を選び、決定ボタンを押す

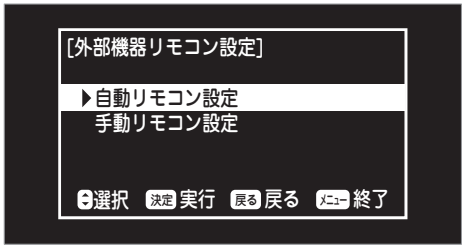
4 ▼▲ボタンで「外部入力機器リモコン設定」を選び、決定ボタンを押す



5 リモコンコードの設定［外部機器接続した場合実施］（つづき）

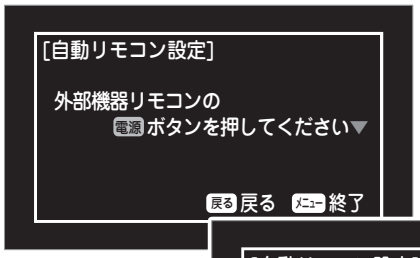


5 ▼▲ボタンで「自動リモコン設定」を選び、決定ボタンを押す

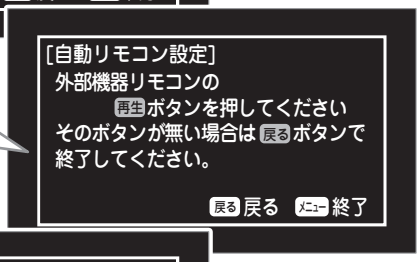


6 表示画面の指示に従って、外部機器リモコンのボタンを押す

※電源ボタンのみで登録が完了する場合があります。その場合下記の再生ボタン入力画面は表示されません。

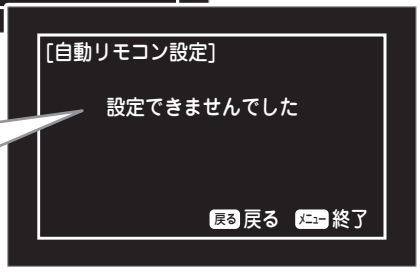


ボタンがない場合は、戻るを押して設定を終了します。



設定できたボタンのマークの色が変わります。

登録できない場合「設定できませんでした」というメッセージが出ます。



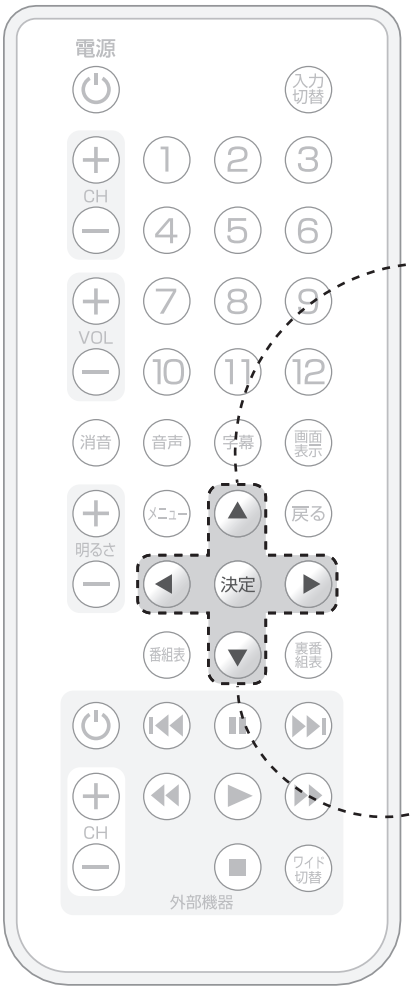
7 メニューボタンを押す

操作を終了します。

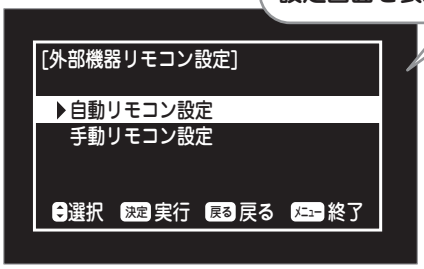
※自動リモコン設定で登録できなくても、手動リモコン設定で登録できる場合があります。

5 リモコンコードの設定［外部機器接続した場合実施］（つづき）

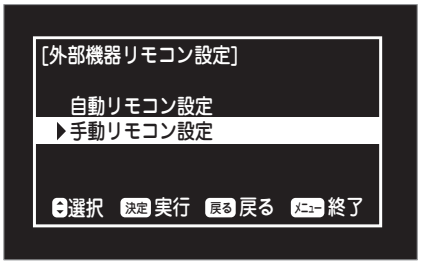
手動でリモコンコードを設定する場合



1 外部機器リモコン設定画面を表示する



2 ▼▲ボタンで「手動リモコン設定」を選び、決定ボタンを押す



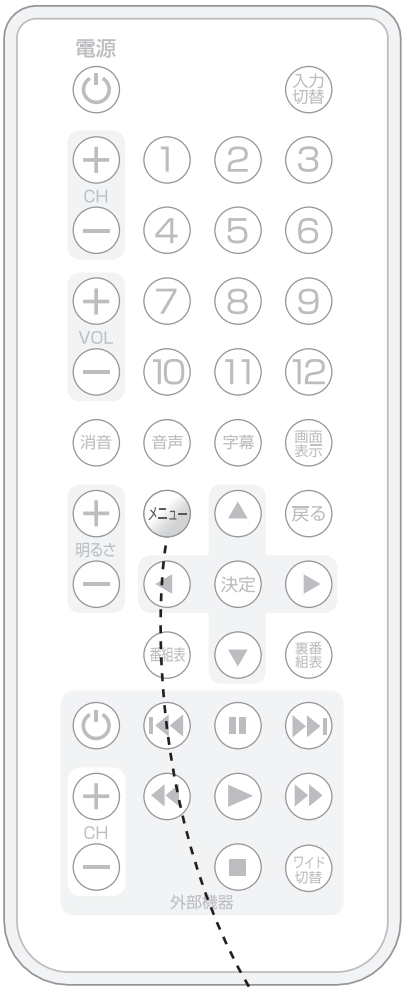
3 ▼▲◀▶ボタンで設定したいリモコンキーを選び、決定ボタンを押す

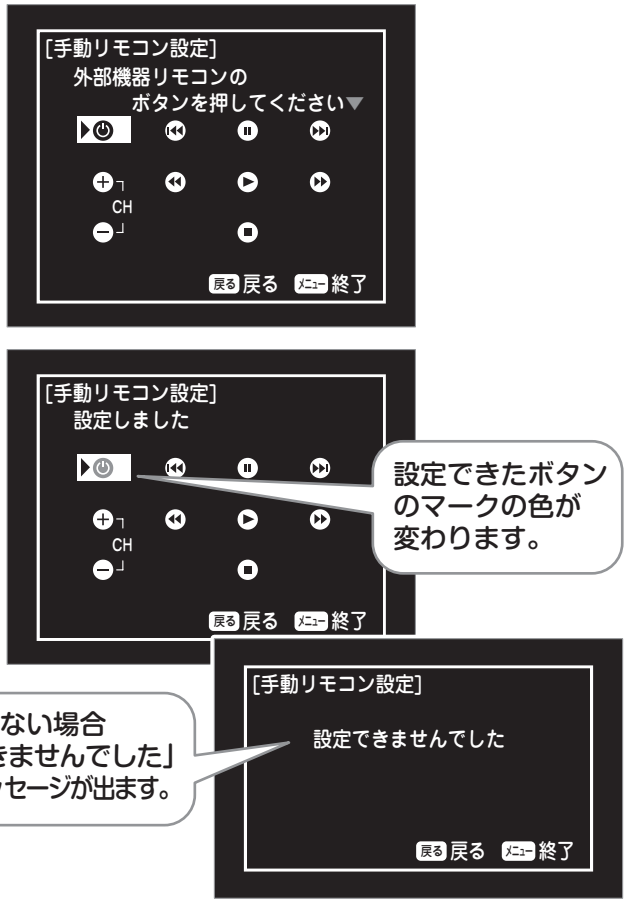
※設定したいボタンを押して直接選択することもできます。

5 リモコンコードの設定［外部機器接続した場合実施］（つづき）

4 設定したい外部機器リモコンを用意して、選択したボタンを押す

この時、選択したいボタンは設定完了まで押し続けてください。
（ボタンを押し続けないと登録できないことがあります）。





5 手順3・4を繰り返して設定したいキーを登録する

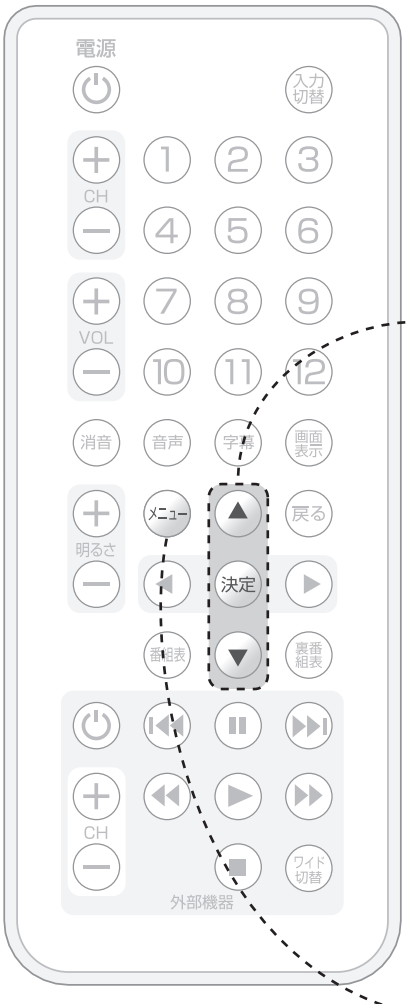
6 設定が終わったらメニューボタンを押す

操作を終了します。

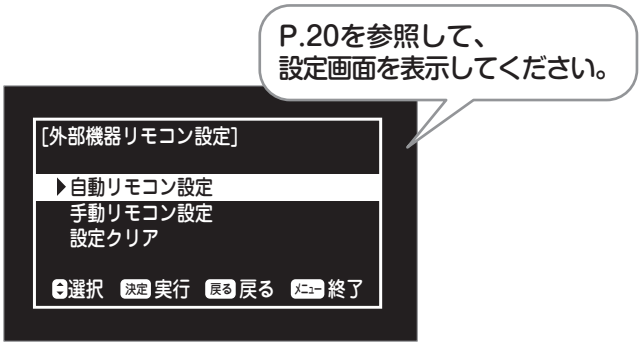
5 リモコンコードの設定［外部機器接続した場合実施］（つづき）

リモコンコードを設定解除する

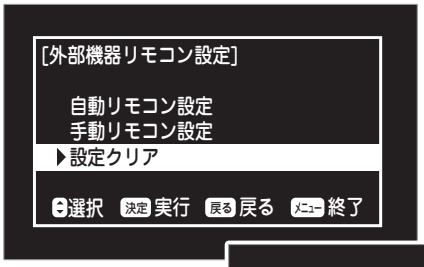
接続した外部機器（DVDプレーヤー等）の取替えなどでリモコンコードを再設定する時に必要です。

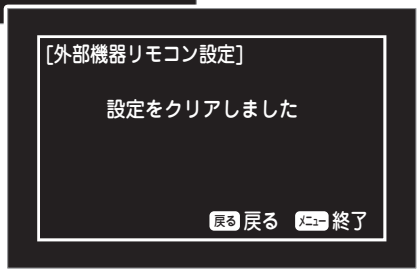


1 外部機器リモコン設定画面を表示する



2 ▼▲ボタンで「設定クリア」を選び、決定ボタンを押す

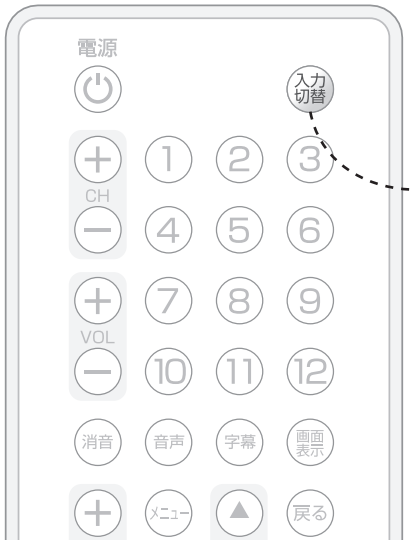




3 メニューボタンを押す

操作を終了します。

6 入力切替の確認



1 入力切替ボタンを押す

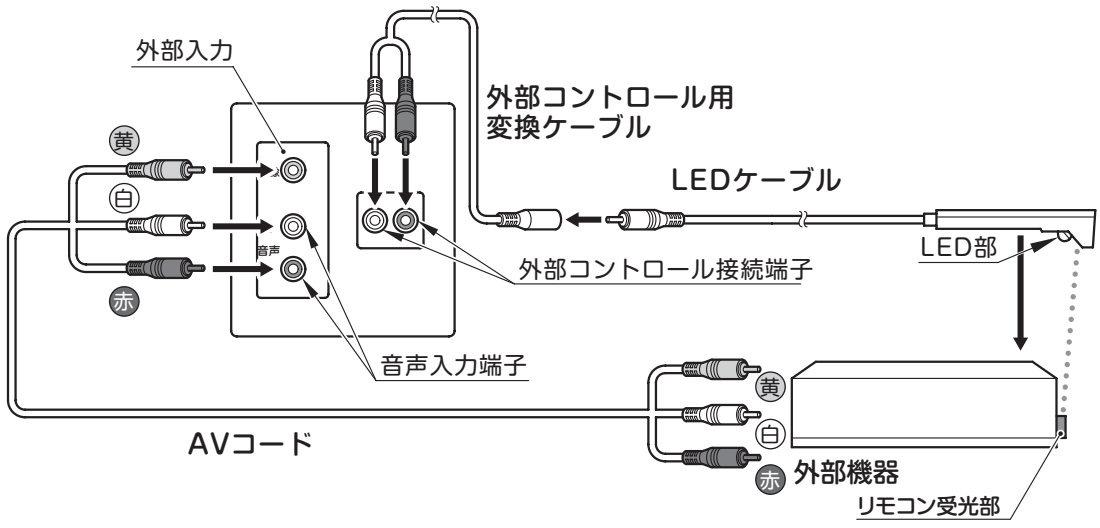
画面が「テレビ放送画面」→「外部入力」と切り替わることを確認後、「テレビ放送画面」にしてください。

7 外部機器を接続した場合の動作確認

元請店実施事項

実際に外部機器を接続して動作を確認してください。

- 外部機器のリモコンは赤外線タイプをご使用ください。（無線タイプのものは使用できません。）
- 外部機器のリモコンが赤外線／無線の切換可能なタイプの場合、赤外線に切り換えて操作してください。



⚠注意

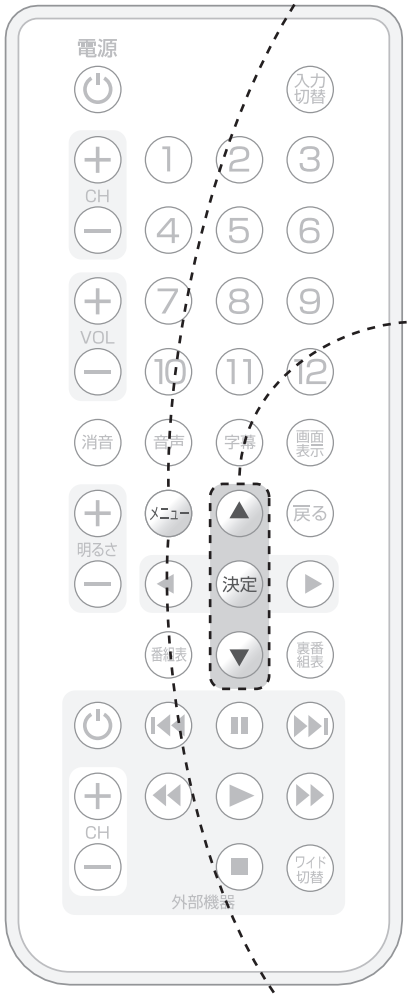
必ず実行

LEDケーブルは映像機器のリモコン受光部に向けて設置し、マスキングテープ等で仮固定する

作動確認後、必ずリモコンコード設定を解除する

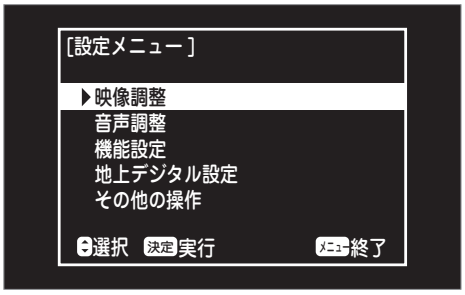
•24ページをご覧ください。

8「自動チャンネルスキャン」の再実行[必要時のみ実施]



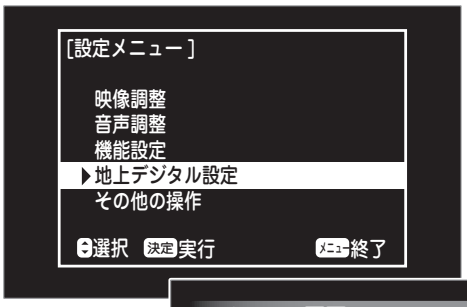
1 メニューボタンを押す

設定メニューになります。



2 ▼▲ボタンで「地上デジタル設定」を選び、決定ボタンを押す

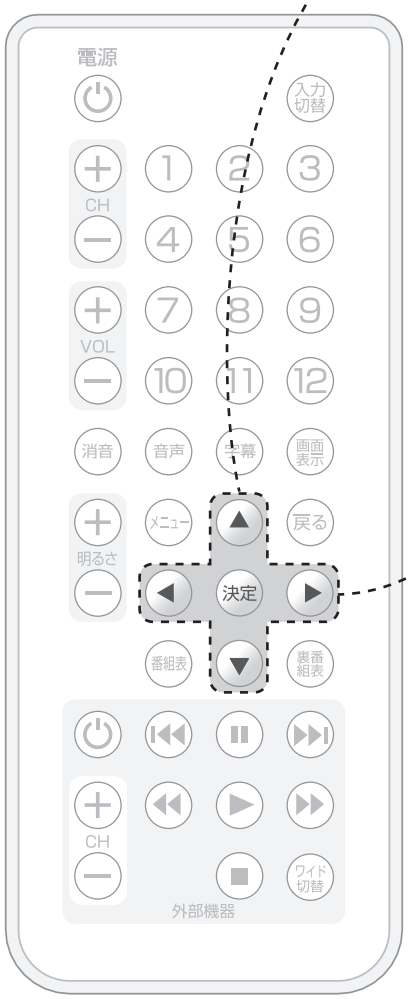
地上デジタル設定メニュー画面になります。



3 ▼▲ボタンで「受信設定」を選び、決定ボタンを押す

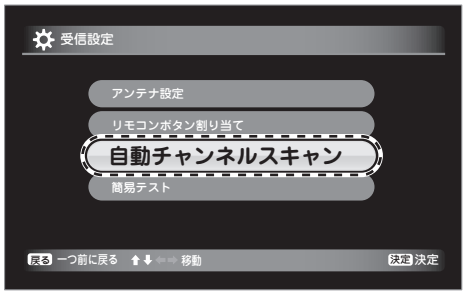
受信設定画面になります。

8「自動チャンネルスキャン」の再実行[必要時のみ実施]（つづき）



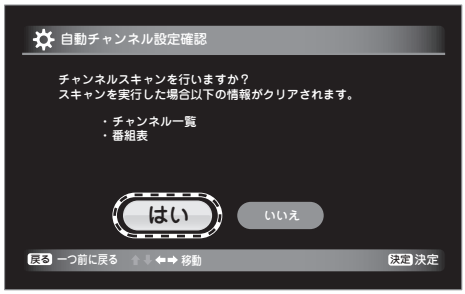
4 ▼▲ボタンで「自動チャンネルスキャン」を選び、決定ボタンを押す

確認画面になります。



5 ◀▶ボタンで「はい」を選び、決定ボタンを押す

自動スキャンを実行します。



その他

※システムバスルーム後付け時のご注意

●穴あけ前に必ずケーブル類の配線スペースがあることを確認してください。
●穴あけ位置にシステムバスルーム壁裏配管やケーブル類、建築側柱など干渉物がないことを確認してください。
●ケーブル類の壁裏配線は針金などを使用し実施してください。
　この際、ケーブル類を傷つけないようご注意ください。

三谷商事株式会社 〒910-8510
福井県福井市豊島1-3-1 第3三谷ビル2F

TEL：0120-39-3484
受付時間：9:00 ～ 17:30（土日・祝日・弊社所定の休業日を除く）

メール：csupport@mitani-corp.co.jp
受付時間：24時間（土日・祝日・弊社所定の休業日を挟んだ場合は、ご回答までにお時間を頂く場合がございます。）